

# 事業報告書

令和2年度

社会福祉法人甲南会

事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細書は作成していません。

## 甲南会 事業報告

### 1. 概況報告

#### (1) 法人の概要

- |                 |                      |
|-----------------|----------------------|
| ① 主たる事務所の所在     | 甲賀市甲南町葛木 855 番地      |
| ② 代表者氏名         | 理事長 森田 則久(重任)        |
| ③ 法人認可年月日及び認可番号 | 平成8年3月4日 滋賀県指令レ第134号 |
| ④ 設立登記年月日       | 平成8年3月5日             |

#### (2) 法人の行う事業

##### ① 第一種社会福祉事業

施設種別	施設名称	代表者	定員	事業開始日
特別養護老人ホーム	特別養護老人ホーム せせらぎ苑	尾崎美登里	68	平成9年4月1日
軽費老人ホーム	ケアハウス せせらぎ苑	尾崎美登里	15	平成9年4月1日

##### ② 第二種社会福祉事業

事業種別	事業所名	代表者	定員	事業開始日
保育所	甲南のぞみ保育園	辻森みさき	160	平成8年4月1日
一時預かり事業	甲南のぞみ保育園	辻森みさき	-	平成31年4月1日
病児保育事業 (体調不良児対応型)	甲南のぞみ保育園	辻森みさき	-	平成31年4月1日
老人短期入所事業	せせらぎ苑	尾崎美登里	20	平成9年4月1日
老人介護支援センター	甲南在宅介護 支援センター	尾崎美登里	-	平成9年4月1日
老人デイサービスセンター	せせらぎ苑 デイサービスセンター	尾崎美登里	40	平成9年4月1日
認知症対応型老人 共同生活援助事業	クルーフ・ホーム せせらぎ (短期利用含む)	尾崎美登里	18	平成20年1月1日
老人居宅介護等事業	せせらぎ苑訪問介護 サービス	尾崎美登里	-	平成26年4月1日
老人デイサービス事業	グループホームせせらぎ 通所介護	尾崎美登里	2	平成29年5月1日

##### ③ 公益事業

事業種別	事業所名	代表者	定員	事業開始日
居宅介護支援事業	せせらぎ苑居宅介護支援 センター	尾崎美登里	-	平成12年4月1日

(3) 定款変更の状況

令和元年9月2日以降変更なし

(4) 役員等の状況

① 定款上の定数

理事6名、監事2名、

任期：令和元年6月19日～令和3年に開催する令和2年度のものに関する定時評議員  
会終結の時まで

評議員7名

任期：平成29年4月1日～令和3年に開催する令和2年度のものに関する定時評議員  
会終結の時まで

② 役員等の名簿

理事長	森田 則久	理事	辻 金雄
理事	伊室 信子	理事	三雲 正治
常務理事	黒田 隆	理事	尾崎 美登里
監事	吉村 清作	監事	吉田 秀一
評議員	樫尾 重虎	評議員	山本 淳治
評議員	吉澤 宏文	評議員	臼田 昭
評議員	神山 さち子	評議員	森岡 光良
評議員	岡根 芳仁		

## (5) 資産(土地・建物)の状況

## ① 基本財産(土地・建物)

所在	地目 又は 構造	面積 ① 定款 ② 登記簿	原因 および その日付	種類用途	担保提供の状況
					① 提供の有無 ② 提供先 ③ 所轄庁の承認の有無 ④ 抵当権設定年月日 ⑤ 質権額
滋賀県甲賀市甲南町葛木字藤垣 855 番地、 845 番地、 847 番地、 850 番地、 854 番地、 856 番地、 845番地先 同所字恵古30番 地42、同所字後 谷883番地1、884 番地 (計10筆) (家屋番号) 855番	(苑舎) 鉄筋コンクリート 造瓦葺 平家建	① 4,804.72㎡ ② 4,804.72㎡	平成9年3月4日 新築	特別養護老人ホーム苑 舎、物置	(増築時借入) ① 有 ② 独立行政法人福祉 医療機構 ③ 有 ④ 平成25年3月14日 ⑤ 1億円
	(物置) 鉄骨造り 瓦葺 2階建	① 124.19㎡ ② 124.19㎡	平成14年5月10日 増築 (平成14年6月20日 登記) 平成25年3月22日 増築 (平成25年4月11日 登記)		(借換) 平成21年9月10日独立行 政法人福祉医療機構から の借換分として甲賀農業 協同組合にて抵当権設定 していたが、平成27年度 末をもって完済により平 成28年5月16日甲賀農業 協同組合分については抵 当権抹消となった。
滋賀県甲賀市甲南町葛木字藤垣 869番地2 (地番) 869番地2	(宅地)	① 1,983.47㎡ ② 1,983.47㎡ 合筆登記	平成19年7月6日 売買による所有権移転 (平成19年12月17日)	グループホーム せせらぎ 苑舎敷地	① 無 ② 無 ③ 無 ④ 無 ⑤ 無
滋賀県甲賀市甲南町葛木字藤垣 869番地2 (家屋番号) 869番2	(建物) 木造 スレート葺き 平家建	① 685.66㎡ ② 685.66㎡	平成19年11月27日 新築 (平成19年12月17日 登記)	グループホーム せせらぎ 苑舎	① 無 ② 無 ③ 無 ④ 無 ⑤ 無
滋賀県甲賀市甲南町稗谷字大水 戸2838番地、 2836番地、2837 番地、2839番地 (家屋番号) 2838番	(建物) 鉄骨造 亜鉛メッキ 鋼板葺き 平家建	① 811.50㎡ 307.05㎡ 計 1,118.55㎡ ② 811.50㎡ 307.05㎡ 計 1,118.55㎡	平成8年3月27日 新築 平成14年11月19日 増築 (平成21年4月16日 所有権移転登記)	保育所 甲南のぞみ保育園 園舎	① 無 ② 無 ③ 無 ④ 無 ⑤ 無

## ② 運用財産(土地・建物) 無

## 2. 法人運営について（総括報告）

甲南会基本理念の「甲南会は、安心・安全、よろこびを、追求します。」をもとに、法人運営を行った。今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が、すべての事業に大きな影響を与えたが、各方面からの情報収集に力を入れ、迅速な対応を行った。

外国人技能実習生の受け入れについても、新型コロナウイルス感染症の流行により、大幅に遅れることとなったが、管理団体である協同組合との連携により次年度の受け入れに向けて採用面接ができ、3名の技能実習生の内定を出すことができた。

## 3. 理事会・評議員会の開催

### (1) 理事会（4回開催）

開催年月日	議 題	
令和2年 5月 29日 (第1回)	第1号議案	「令和元年度事業報告及び計算関係書類並びに財産目録の承認の件」
	第2号議案	「社会福祉充実残額について」
	第3号議案	「諸規程制定および変更について」
	第4号議案	「評議員選任・解任委員会の招集について」
	第5号議案	「定時評議員会の開催について」
	第6号議案	「職務執行状況の報告」
令和2年 9月 17日 (第2回)	第7号議案	「甲賀農業協同組合借入金(2件)の書替手続きについて」
	第8号議案	「諸規程の制定および変更について」
令和2年 12月 16日 (第3回)	第9号議案	「令和2年度補正予算案について」
	第10号議案	「職務執行状況の報告」
令和3年 3月 17日 (第4回)	第11号議案	「諸規程の変更について」
	第12号議案	「令和2年度補正予算案について」
	第13号議案	「令和3年度事業計画及び予算案について」
	第14号議案	「役員等賠償責任保険契約の内容決定について」

### (2) 評議員会（1回開催）

開催年月日	議 題	
令和2年 6月 17日 (定時評議員会)	第1号議案	「令和元年度計算関係書類並びに財産目録の承認の件」



して進めていくこととしたい。(フリースペース:当初から1家族3名 毎週火曜日実施 計174回)

- ③ 関係機関との連携による障がい者の雇用の場の確保に寄与した。
- ④ 甲賀湖南成年後見センターばんじーへの在籍出向(人的支援)を今年度も行った。
- ⑤ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、各種取り組みが中止となった。

せせらぎ苑としても、開苑から継続実施してきたボランティア交流会や甲南第一小学校への出前講座、甲南中学校の職場体験など地域交流の機会の中止が相次ぎ地域交流の機会を確保することが困難となった。

## (2) 甲南のぞみ保育園

- ① 新型コロナウイルス感染症対策として、外部からの来園者を制限していたため、実施できなかった。次年度は、感染予防をしながら地域貢献できる事業を検討していきたい。

## (3) Kohnankai fes (こうなんかいふえす)

- ① 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、次年度に延期としたが、次年度に向けて実行委員会を進め、全4回の検討会を行った。また、このフェスの趣旨を広げるべく、甲賀市や甲賀市教育委員会へ説明を行い、「後援」の承認をいただけた。

## 8. 人財確保への対応

一億総活躍社会の実現に向けて、働くものがそれぞれの事情に応じた多様な働き方を選択できる職場づくりに努めた。

- ① 若年層の職員の就労の安定を図るため、精神面のフォローをそれぞれの施設と家庭でも行っていただけるよう、採用後の家族面談を実施し、甲南会や施設の事業内容や方針について、情報提供を行った。
- ② 働き方改革の柱でもある、「有給休暇の取得促進」については、前年度に引き続き促進すべく声掛けや情報提供を行ったが、コロナ禍の影響により、職員のプライベートでの外出等の予定が立たず、両施設とも前年度よりも取得率が低下した。
- ③ 働き方改革「雇用形態にかかわらず公正な待遇の確保」については、前年度に施設・部署・職種ごとに整理した、業務内容や責任負担に応じた待遇を整理し、改正した規程に基づき、令和2年4月から適正に運用を行った。
- ④ 外国人技能実習生については、コロナ禍により当初より遅れたものの、年度末には3名のベトナム人実習生の内定を出すことができ、次年度に引き継いだ。
- ⑤ 職員の過剰なストレスによる、メンタルダウンを防止すべく、法人として11月から、職員が利用できるカウンセリングルーム(産業カウンセラーを配置)を設置した。

## 9. SDGsへの対応

よりよい未来づくりをめざし、持続可能な開発目標(SDGs)のねらいに則り、役職員間で知識を深め、次年度の計画に進めるべく、現在の事業で何ができているか、また今後何ができるのか、を評価検討する機会をもった。

## 10. その他

### (1) 法人役員の兼職状況



- ・ 甲賀市介護認定審査会委員
- ・ 栗東市介護認定審査会委員
- ・ 甲賀市保育園苦情解決第三者委員
- ・ 社会福祉法人甲賀市社会福祉協議会監事
- ・ 甲賀市社会福祉協議会評議員選任・解任委員
- ・ 社会福祉法人甲賀市社会福祉協議会第三者委員会委員
- ・ 甲賀市民生委員推薦会委員
- ・ 滋賀県老人福祉施設協議会理事
- ・ 滋賀県社会福祉審議会委員
- ・ 滋賀県社会福祉法人経営者協議会 青年部会役員
- ・ 社会福祉法人さざなみ会理事
- ・ 社会福祉法人花水木会理事
- ・ 社会福祉法人恵泉会評議員
- ・ 社会福祉法人やまなみ会評議員
- ・ 社会福祉法人ひまわり会評議員
- ・ 特定非営利活動法人甲賀・湖南成年後見センターばんじー監事
- ・ 特定非営利活動法人甲賀・湖南成年後見センターばんじー第三者委員
- ・ グループホームまごころ土山運営推進会議 委員

(2) 借入金の状況

借入先	理事会の承認	借入目的	① 借入金額 ② 契約年月日 ③ 借入期間 ④ 利率	R3.3.31 現在残高	年間 元金 償還額	充当財源別 金額 ① 元金 ② 利子	連帯保証人
JA甲賀	有	グループホーム 建設資金	① 100,000千円 ② H19.8.1 ③ 15年 ④ 年2.2%	9,990 千円	6,660 千円	① 介護保険収入 ② 介護保険収入	理事 全員
JA甲賀	有	特養・ ショートステイ 増築工事資金	① 40,000千円 ② H24.12.17 ③ 15年 ④ 年0.55%	17,700 千円	2,676 千円	① 介護保険収入 ② 介護保険収入	無 (預担)
独立行政法人 福祉医療機構	有	特養・ ショートステイ 増築工事資金	① 100,000千円 ② H25.4.25 ③ 15年 ④ 年0.75%	49,644 千円	7,092 千円	① 介護保険収入 ② 介護保険収入	無 (建物担保)
JA甲賀	有	特養 空調更新工事等 資金	① 90,000千円 ② H28.1.29 ③ 15年 ④ 年0.545%	58,500 千円	6,000 千円	① 介護保険収入 ② 介護保険収入	無 (預担)
計				135,834 千円	22,428 千円		

### (3) 新型コロナウイルス感染症の対応について

新型コロナウイルス感染症対策については、令和元年度末から、国・滋賀県・甲賀市などから通知や事務連絡が出され、せせらぎ苑・甲南のぞみ保育園ともにそれらの通知等をもとに、迅速に対策を幹部職員にて検討し、職員や利用者家族・保護者に情報提供を行った。特に、両施設ともに、「人」へのサービスを提供することが主な業務内容であることから、「感染症の媒介者にならない」ために、何度も声を掛け合いながら、職員一人ひとりが感染対策の徹底を行った。

社会全体が不安や負担を感じる一年となったが、せせらぎ苑は介護事業所として、滋賀県から「介護慰労金」や「感染症対策を徹底したうえでの介護サービス提供支援事業」にて補助金をいただくことができ、職員への慰労金支給や今までの備蓄以上に必要となった感染予防物品の購入などを行うことができた。また、甲南のぞみ保育園については、甲賀市より「新型コロナウイルス感染症対策事業補助金」をいただき物品の購入などに活用できた。その他、小学校等が休業に伴う助成金を活用するなど、各種施策を活用し、職員に対しての手当ても行うことができた。

※せせらぎ苑：介護慰労金（県）7,800,000円・介護サービス提供支援事業補助金（県）6,211,000円

甲賀市感染予防対策支援金（市）400,000円 小学校休業等対応助成金（厚労省）428,275円

甲南のぞみ保育園：甲賀市等新型コロナウイルス感染症対策事業補助金（市）2,500,000円

小学校休業等対応助成金（厚労省）389,612円 保育慰労金（法人負担）846,500円

# 令和2年度 せせらぎ苑事業報告

## 1. 3年計画（令和2年度～4年度）1年目としての総括

甲南会の基本理念およびせせらぎ苑の基本方針と運営指針からぶれることなく事業を進めることができた。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の猛威により、今まで経験したことのない大きなリスクと責任を職員一人ひとりが感じ、悩まされ、大きなストレスを抱えた年度となった。利用者との関わりだけでなく、研修や職員間交流など、人と人が集まり実施することに意義があった取り組みについては、年度当初は実施することさえ危ぶまれた。しかし、適切な情報収集に努めながら、密を避け、感染拡大につながらないように工夫しながらも、さまざまな取り組みを進めることができ、せせらぎ苑全体として、大きく成長したと感じている。

なお、コロナ禍で取り組みが停滞した事業については、3年計画の2年目で進められるよう柔軟に対応をしている。

## 2. 人材確保

従来から介護職においては、高校・短大・大学の新卒採用や定着において、力を入れて取り組んできており、20代から50代まで各年齢層の定着も安定してきている。ただ、近年での新卒採用は、困難を極めていることから、新たな3年計画を策定し、1年目としては、以前から情報収集し、検討してきた「インターンシップ」を新たな取り組みとして実施することができた。また、10年間契約してきた新卒採用媒体を見直し、改めてせせらぎ苑の魅力を見つめるところから取り組み、「採用コンセプト」～めのまへの笑顔をまちの笑顔に～に到達することができた。コロナ禍でありながらも、新たな採用活動ができたことを評価し、さらに、このコンセプトをもとに教育機関への発信を活発におこなうなど、3年計画2年目以降の取り組みにつなげたい。

## 3. サービスの質と確保

令和2年度は、特別養護老人ホームにおいて「第三者評価」（外部評価）を受審することができた。これは、中期的な計画を立てることでのしえた実績であり、ここに至るまでに施設内におけるサービスの質の向上に向けた振り返り（自己評価）の重要性が浸透した結果であり、成長であると感じている。第三者評価においては、自己評価では、至らなかった視点の発見や評価者から高評価をいただくことによる職員のモチベーションの向上など、新しい刺激を受けることができた。今年度の新型コロナウイルス感染症の大きなリスクを全職員が実感した経験を活かし、介護事故・災害・感染症など様々なリスクがそのままサービスの低下につながらないように、次なる計画に向けて取り組みたい。

## 4. 業務改善

新型コロナウイルス感染症の感染拡大予防にむけて、業務の上では様々な「手間」が増えることとなった。しかし、このことは、現場での優先順位を考え、業務の無駄をなくし、業務のスリム化を図る機会にも変えることにつながられた。

年度末には、滋賀県からICTにかかる補助金をショートステイとグループホームにいただくことができ、記録システムを導入することができ、今後の活用に期待している。

## 5. 部門別事業報告

### (1) 事務室（甲南会事務局）

甲南会事務局・事務室内の業務の連携を図るべく、正・副役割分担によるチェック機能の充実を図り、ケアレスミスの防止・減少に努めた。また、会計担当においては、利用料収納システムを適切に活用することができ、確実性と業務効率が向上した。また、人事給与担当においては、年度途中から勤怠システムを導入することができ、作業時間の短縮に向けて、効率よくシステムを活用できる方法について検討を進めることができた。

### (2) 栄養室

利用者への適切な食事の提供や家族等への情報提供を行うために、サービス担当者会議においての多職種連携、情報収集に力を入れ、「食」についての検討を進めた。また、献立作成時には、作業時間の配慮を行うべく、使用食材の考慮も行った。厨房内の機器については、スチームコンベクションオーブンの導入により、調理工程を見直し作業効率が向上したことにより、より細やかな食事提供を実践できた。

### (3) 生活相談室

ソーシャルワーカー間の連携を強化、フォローしあえる体制づくりとして情報交換の場（ソーシャルワーカー会議や福祉科会議の開催）を設けることができた。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、面会中止となるなど、利用者と家族が出会えない状況下において、出来る限り利用者の状態が分かるように書面報告、写真の送付を行った。重度化における看取りの利用者が増加傾向にあるが、できるだけ家族との時間を過ごしてもらえようように環境を整えて対応した。

### (4) 医務看護室

職員体制が増員により安定したとともに、改めて業務内容の見直しを行った。新入職員への指導とともに、マニュアルを見直し、手順書を作成し具体的に明文化を行った。

新たな情報共有手段としてインカムを導入し、業務の効率化や急変時の情報共有と迅速な対応に活用できた。

### (5) 施設介護室

コロナ禍により、外出行事や家族等との面会が制限される中、カラオケ機を導入し、感染対策をしながらも利用者の交流の場を広げることができた。外出行事は制限されたものの、開苑から継続して開催してきた「長寿を祝う会」については、密を避け、ユニットごとに行うなど工夫することで節目の年を祝うことができた。

#### 【行事報告】

4月	花見	8月	カラオケ大会	12月	
5月	カラオケ大会	9月	長寿を祝う会	1月	元旦・せせらぎ神社参拝
6月	デザートづくり	10月		2月	
7月	七夕飾りづくり	11月		3月	ひな祭り

## (6) 在宅介護室

### ① ショートステイ

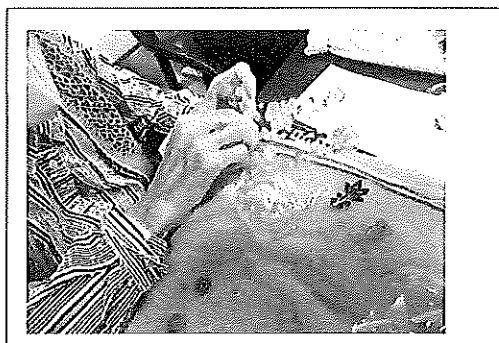
今年度は、新型コロナウイルス感染症のため、感染対策をしたうえで、利用者楽しんでいただけることを考え、実行に向けてじっくり検討し行事を計画実施した。例年のようにはいかなかったが「できること」を探し、「五感」で楽しめる行事を考え取り組むことができた。

また、ケアにおいては、利用者の重度化に伴い、個別ケアを取り入れた排泄介助の業務改善を排泄チーム中心に取り組んだ。部署内での取り組みを共有し、利用者の生活が有意義であるようスタッフ全員の声を生かした体制づくりに努めた。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止については、感染の不安を軽減できるよう利用者の体調に気を配るとともに、利用者へのマスク着用をお願いしたり、共用スペースの定期的な消毒の実施するなど対策を徹底して行った。

#### 【行事報告】

4月	・旬の食材「菜の花」のお浸しづくり ・春を感じるちらし寿司を作ろう	10月	・サツマイモを蒸して食べよう
5月		11月	・かぼちゃの煮物づくり ・秋らしく焼き芋を食べよう
6月	・季節の花を植えよう	12月	・年末紅白歌合戦 ～せせらぎカラオケ大会～
7月	・七夕～みんなの思いをわかちあおう ・風鈴かざりで涼を。	1月	・苑内初詣 ～おみくじとお守りでリアル初詣～ ・絵馬に思いを・甘酒で正月気分 ・正月かるた大会・職員の顔で福笑い ・みかん大福作り・書初展 ・ベビーカステラづくり
8月	・手作りうちわで夏をのりきろう ・ショートステイ夏祭り～暑さを吹き飛ばそう～	2月	・みかん羊羹づくり ～トラ柄羊羹で節分気分♪～
9月	・みんなで長寿の日をお祝いしよう	3月	・春を感じるいちごミルクプリン作り



### ② デイサービスセンター

新型コロナウイルス感染症が心配される中、デイサービスでは、利用者の体調管理に気を配り、送迎車等の消毒の徹底や密を避ける席の配置や確認、定期的な換気などの対策に力を入れながら、事業を実施した。そんな状況の中でも、壁画作りや巨大絵馬といった作品作りにも力を入れ、利用者が持ち帰り、ご家族や関係者と共有していただけるような作品も制作することができた。また、利用者に季節を感じ楽しんでいただけるようなレクリエーションなども考え取り組んだ。

今年度も利用者や家族の希望に応じて、利用日の調整や振替利用なども積極的に取り組んだ。

【行事報告】

4月	桜の壁画飾り作り	10月	人形作りレクリエーション
5月	あじさい造花作り	11月	四季の壁画作り
6月	藤の花飾り作り	12月	クリスマス忘年会・ケーキバイキング
7月		1月	巨大絵馬作成・正月レク・門松づくり
8月	夏祭り	2月	節分
9月	長寿を祝う会	3月	ひな祭り人形作成・桜の花作り

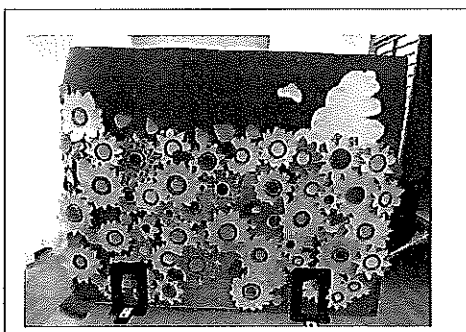
(7) 生活支援室

① ケアハウス

今年はコロナウィルスの状況下の中、施設内で出来る範囲の行事を計画した。毎月実施している手作りクラブもアクリル板の利用、ソーシャルディスタンスを徹底し、楽しむことができた。

【行事報告】

4月	・お花見ツアー ・手作りクラブ	10月	・訪問美容ベリー ・期日前投票 ・カラオケ ・手作りランチ「ラーメン」 ・のぞみ保育園児と芋掘り・手作りクラブ
5月	・サツマイモの苗植え (職員とケアハウス入居者) ・宅配ランチツアー	11月	・訪問美容ベリー ・カラオケ ・手作りクラブ
6月	・カラオケ ・手作りクラブ	12月	・クリスマス会 ・訪問美容ベリー ・カラオケ ・手作りクラブ
7月	・手作りクラブ	1月	・訪問美容ベリー・手作りクラブ ・矢川神社初詣 ・ぜんざい&お年玉ゲーム
8月	・ケアハウス夏祭り ・手作りクラブ	2月	・手作りクラブ
9月	・ケアハウス長寿を祝う会 ・訪問美容ベリー ・手作りクラブ	3月	・訪問美容ベリー ・手作りクラブ ・ひな祭りお茶会
毎月定例行事 ・買い物ツアー(5・8・2月:新型コロナによる中止) ・巡回図書			



## ② 居宅介護支援事業

ケアマネジャー常勤 3 名と非常勤職員 1 名の 4 名体制にて特定事業所加算の算定を継続し、特定事業所加算を算定する事業所としての役割を果たすべく、個々のケアマネジャーのケアマネジメント能力の向上に力を入れた。事業所内でのケース共有や事例検討、勉強会と、ケアマネジャーが受講した研修についての報告、共有を週 1 回ミーティング時に実施した。9 月から人事異動による新任ケアマネジャーの増員により育成についても力を入れた。また、今年度は、コロナ禍により外部研修の機会が減ったものの感染対策をしながら Web での研修を受講するなどにより研鑽を重ねた。

## ③ 訪問介護事業

利用者のニーズに丁寧に応じ、利用者の体調変化や、サービスの利用状況などをケアマネジャーや他事業所への連絡を密に行い、連携を図ることができた。サービス内容の変更時には迅速かつ柔軟な対応を心掛けた。今年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策もあり、標準予防策の徹底と感染対策をしながらの訪問で職員の心身の負担が大きかったが、非常勤も含めたすべての訪問介護員に対し、日々の情報提供と情報共有の徹底に力を入れた。また、新たに月 1 回のヘルパー会議を確実にし、意見交換をすることでサービスの質の向上に努め、利用者個別の手順書を作成し、ケアの標準化にも取り組んだ。

## (8) グループホーム室

今年度は、コロナ禍の中でも密を避けながら施設内での活動を入居者と職員が一緒に楽しむことができた。

ケアについては、利用者の重度化に伴い、福祉用具（センサーマットやワイヤレスコール、褥瘡予防マット）の増設・導入を行い、退去された 2 名については看取りケアまでさせていただくことができた。職員のキャリアアップについては、対象職員が認知症実践者研修を受講し研鑽することができた。

2 か月に 1 回の運営推進会議については、全 6 回開催し（うち 1 回（5 月）は新型コロナウイルス感染症の拡大防止より書面開催）、地域の方や行政からの貴重な意見をいただいた。

### 【行事報告】

4月	・お花見 ・どら焼き作り ・ドーナツ作り ・味噌田楽作り	10月	・お菓子バイキング ・カラオケ
5月	・羊羹作り ・ドーナツ作り	11月	・カラオケ ・文化祭
6月	・レンコン餅作り ・フラワーアレンジメント ・水無月作り ・すいか割り	12月	・クリスマス会 ・年賀状作成
7月	・七夕 ・すいか割り	1月	・お正月行事 ・書初め ・七草がゆ ・鏡開き ・かるた大会
8月	・お盆のお参り ・アユの塩焼き ・花火大会	2月	・節分豆まき ・バレンタインデー
9月	・長寿を祝う会 ・お彼岸のお参り ・サツマイモのお菓子作り ・ヨーヨー釣り	3月	・ひな祭り ・お彼岸参り

## 6. 委員会別事業報告

### (1) サービス向上委員会

サービス向上委員会規程に則り、計画的に事業を実施した。プロジェクトチームにより、各課題にきめ細やかに対応し、現状に則した研修会などを行った。今年度は、新型コロナウイルス感染症について、各機関からの情報収集とその共有につとめ、「感染しない、持ち込まない」対策などの検討と発信を行った。

#### ▷ 自己評価・第三者評価チーム

自己評価については、施設全体で検討する仕組みを確立し、実行できた。委員会等への振り分けをすることにより、多くの職員が参画し、自己評価を行い、課題抽出を行えた。今年度は、初めて第三者評価を社会福祉士会に依頼し、受審した。第三者評価結果を受け、改善を求められる点については今後事業での取り組みを進めていく。自己評価の進め方についても助言をいただき、さらに自己評価を充実させるためのきっかけとできた。

#### ▷ 身体拘束ケア評価チーム

身体拘束の適正化を図るため、3か月に1回以上、定例で検討会を開催することができた。身体拘束適正化に向けた研修については、新人研修とは別に年2回の機会を確保したが、コロナ禍でもあったことから動画による学習を個別にて実施した。学習内容については、「身体拘束についての基本的知識」と「高齢者の権利擁護・虐待防止について」を学習し、不適切なケアについて考え、日ごろのケアを振り返る機会にすることができた。

#### ▷ 介護事故・苦情要望検討チーム

各部門で発生する、介護事故や苦情対応事例などの再検討・再検証をし、検証内容から現状にふさわしい研修企画を行い、年2回の研修を実施した。今年度は、サービス向上に向けて利用者・家族アンケートをデイサービスとショートステイの部門にて実施した。

令和2年度においては、ヒヤリハット156件、アクシデント509件（令和元年度ヒヤリハット154件、アクシデント456件）の報告書が提出された。また、その内甲賀市へ11件、（令和元年度は甲賀市に16件、滋賀県に1件）の行政報告を行なった。万が一の介護事故や利用者の物品破損については、賠償保険を契約しており、対人・対物事故補償や見舞金として14件 502,179円（令和元年度 38件 993,248円）の保険金を請求した。

月 日	実 績	
令和2年 4月 6日	サービス向上委員会（定例）	新型コロナ対応・働き方改革制度改正について
15日	介護事故・苦情要望検討チーム	会議① 年間計画について
20日	サービス向上委員会（定例）	新型コロナ対応・有給休暇取得について
24日	サービス向上委員会（臨時）	新型コロナウイルス感染症対策会議
5月 4日	サービス向上委員会（定例）	新型コロナ対応・連絡事項
6日	身体拘束・ケア評価チーム	会議① 趣旨と年間計画
18日	サービス向上委員会（定例）	研修実施内容の確認
6月 1日	サービス向上委員会（定例）	新型コロナ対応・kohnankaifesについて
15日	サービス向上委員会（定例）	採用（インターンシップ）について
16日	介護事故・苦情要望検討チーム	会議② 介護職対象研修について1



6月 25日 ～ 7月 31日	身体拘束・ケア評価チーム	身体拘束適正化研修① 「身体拘束の基本的知識」
6月 29日	サービス向上委員会（定例）	計画の確認・連絡事項
7月 13日	サービス向上委員会（定例）	新型コロナ対応・面会等について
17日	自己評価・第三者評価検討チーム	会議① 自己評価仕分け作業、各担当へ配布 第三者評価受審について
23日	サービス向上委員会（臨時）	新型コロナウイルス感染症対策会議
27日	サービス向上委員会（定例）	アクシデント報告について
30日	サービス向上委員会（臨時）	新型コロナウイルス感染症対策会議
8月 4日	サービス向上委員会（臨時）	新型コロナウイルス感染症対策会議
6日	サービス向上委員会（臨時）	新型コロナウイルス感染症対策会議
10日	サービス向上委員会（定例）	新型コロナ対応・応援派遣事業について
24日	サービス向上委員会（定例）	新型コロナ対応・自己評価について
9月 7日	サービス向上委員会（定例）	新型コロナ対応・面会等について
9日	介護事故・苦情要望検討チーム	会議③ 利用者アンケートについて
21日	サービス向上委員会（定例）	新型コロナ対応・行動制限について
10月 5日	サービス向上委員会（定例）	新型コロナ対応・技能実習生について
13日 16日 27日	介護事故・苦情要望検討チーム	介護職対象リスクマネジメント研修
19日	サービス向上委員会（定例）	新型コロナ対応・メンタルヘルス研修実施
中旬	介護事故・苦情要望検討チーム	利用者アンケートの実施
中旬	自己評価・第三者評価検討チーム	特養自己評価結果より課題抽出
11月 2日	サービス向上委員会（定例）	カウンセリングルームについて・連絡事項
5日	介護事故・苦情要望検討チーム	会議④ アンケート集計・研修について
5日	身体拘束・ケア評価チーム	会議② 全体研修評価、研修計画
10日	介護事故・苦情要望検討チーム	会議⑤ アンケート集計
16日	サービス向上委員会（定例）	新型コロナ対応・入浴時の換気について
18日	身体拘束・ケア評価チーム	会議③ 研修計画
11月 23日 ～ 1月 8日	身体拘束・ケア評価チーム	身体拘束適正化研修② 「高齢者の権利擁護と虐待防止について」
30日	サービス向上委員会（定例）	新型コロナ対応・介護施設間応援事業について
12月 11日	自己評価・第三者評価検討チーム	会議② 第三者評価受審について
14日	サービス向上委員会（定例）	新型コロナ対応・学習支援事業について
28日	サービス向上委員会（定例）	新型コロナ対応・各種研修実施について
令和3年 1月	自己評価・第三者評価検討チーム	居宅介護支援自己評価提出
9日	介護事故・苦情要望検討チーム	会議⑥ 全体研修について
11日	サービス向上委員会（定例）	新型コロナ対応・事業計画について
14日	自己評価・第三者評価検討チーム	第三者評価受審
25日	サービス向上委員会（定例）	新型コロナ対応・介護報酬改定について
2月	自己評価・第三者評価検討チーム	デイ・訪問介護・ケアハウス自己評価提出

8日	サービス向上委員会（定例）	新型コロナ対応・職員検診について
22日	サービス向上委員会（定例）	新型コロナ対応・インターンシップについて
3月	自己評価・第三者評価検討チーム	滋賀県ホームページにて第三者評価結果公表
8日	サービス向上委員会	新人研修について
9日	身体拘束・ケア評価チーム	会議④ 研修2の振り返り 次年度計画
16日	介護事故・苦情要望検討チーム	会議⑦ 全体研修と1年の振り返り 広報「清流」にてアンケート結果公表
22日	サービス向上委員会（定例）	人事について・アクシデント報告について
24日	自己評価・第三者評価検討チーム	会議③ 今年度の反省と来年度に向けて

## (2) 給食委員会

給食運営規程に基づき、食品衛生管理の徹底に関する項目の検討を行った。また、嗜好調査などにより、利用者の食事に関する要望への対応に努めた。

ショートステイでも温冷配膳車を導入し、苑全体の課題に対応することができた。

月 日	実 績	
令和2年 6月 22日	第1回給食委員会	年間計画について 利用者の食事について 令和元年度ケアハウス嗜好調査結果について
9月 14日	第2回給食委員会	利用者の食事について
12月 21日	第3回給食委員会	利用者の食事について
令和3年 3月 15日	第4回給食委員会	利用者の食事について 次年度事業計画について ケアハウス嗜好調査の実施

## (3) 防災委員会

災害時、最善の行動がとれるよう、訓練を実施し、利用者・職員双方に「命を守るための行動」を発信した。併せて、非常災害時、職員がスムーズに対応できるよう発電機の点検および動作確認。排煙装置の開閉点検を2ヶ月に1回の頻度で行った。また、せせらぎ苑が土砂災害警戒区域になっていることから土砂災害訓練を実施した。

月 日	実 績	
令和2年 6月 15日	設備点検	発電機排煙装置自主点検災害備蓄用品について
7月 20日	第1回防災委員会	災害マニュアルについて
8月 20日 31日	設備点検 消防設備点検	発電機排煙装置自主点検 せせらぎ苑機器点検・グループホームせせらぎ総合点検
10月 24日	設備点検	発電機排煙装置自主点検
10月 26日	第2回防災委員会	緊急連絡網の見直し・土砂洪水非常災害対策計画について
12月 13日	設備点検	発電機排煙装置自主点検
令和3年 1月 18日	第3回防災委員会	利用者および職員への安否確認の方法について
2月 21日	設備点検	発電機排煙装置自主点検
18日	避難訓練	夜間想定・火災通報・避難誘導訓練
3月 10日	消防設備点検	せせらぎ苑総合点検・グループホームせせらぎ機器点検
24日	避難訓練	昼間想定・火災通報・避難誘導訓練
28日	避難訓練	土砂災害想定避難訓練

#### (4) 防犯設備委員会

今年度も、不審者対策として、外来者の記録の徹底を継続した。またコロナ禍でもあり、外来者の記録用紙については感染拡大防止の面からもさらに様式を充実させ、記録・保管することとした。設備としては、従来からの福祉用具の定期的なメンテナンスを継続し安心安全に努めた。施設内の設備管理については、老朽化による漏水工事が大がかりな工事となったこともあり、建物・設備の不具合や異変については早期発見・早期対応の重要性を改めて感じた。

#### (5) 人財育成委員会

今年度も、人財（財産）の確保について、採用から育成、定着までを一連の流れとし、採用は「採用チーム」にて、育成は「育成チーム」にて、定着は働きやすい職場を実現すべく「働き方改革チーム」として、3つのチームに分け、連携し人財の確保に取り組んだ。

##### ▷ 採用チーム

採用活動に向けて、新しく契約した企業との連携により、学び考える機会をもち、職員皆で参画し、～めのまへの笑顔を、まちの笑顔に～という採用コンセプトを完成させた。これは今後、採用活動だけでなくせせらぎ苑の「人財コンセプト」として委員会全体で根付かせたい。また、以前から検討し、情報収集してきたインターンシップにおいても、5日間プロジェクト型インターンシップとしてプログラムを完成させ、4名の学生に参加いただけた。

年間セミナー等実績：セミナー開催・参加回数 11回（前年 7回）、ブース来場 57名（前年 35名）施設見学 6名（前年 5名）採用 3名（前年 2名）

##### ▷ 育成チーム

事業を計画的に実施するため、各事業について、担当分担を行いチームメンバーが積極的に参画した1年となった。

全体研修については、職員アンケートにて希望が多かった「接遇研修」を行った。受講者と一緒に意見交換を行いながら研修を進められるよう、少人数に分け複数回実施した。（28回 114名）職員からは、今までにない研修のやり方で自分の意見を述べやすかった」「日ごろの業務を振り返る機会になった」と好評を得た。新たな取り組みである「交流会」においては、職員を役職や経験年数別に4グループに分け、コロナ禍ではあったが、感染対策の上各2回ずつ開催した。「同じ立場で話すことができ楽しかった」という声がある中、自主参加であるため参加率の低いグループもあり課題が残った。

従来から継続して取り組んでいる「介護プロフェッショナルキャリア段位制度」の研修会については、コロナ禍により開催がなくなり、介護福祉士実習指導者研修については該当者なしのため、次年度に持ちこすこととした。

##### ▷ 働き方改革チーム（安全衛生委員会）

今年度は新たに、衛生管理者とは別に、安全推進者を2名選任し、さらに安心して働ける職場環境づくりを追求し、作業点検マニュアル、職員向けのヒヤリハットやアクシデントの報告書・記録様式を作成した。また、新型コロナウイルス感染症により業者の協力を断念せざるを得ず、アシックスシューズの測定会は、チームメンバーで実施した。メンタルヘルスについては、甲南会としてカウンセリングルームの設置でき、カウンセラーに依頼し研修会を実施できた。腰痛予防については、チームメンバーにてWeb研修などを活用し、「抱えあげない介護」や「ノーリフト協会」の学習会に参加して研鑽を深めた。

月 日	実 績	
令和2年 4月 22日	育成チーム	会議① 事業計画確認・接遇研修について・職場体験プログラムの作成
	働き方改革チーム	会議① 年間計画の確認 役割分担 作業点検
	採用チーム	カイゴとフクシの就職フェア (4/12) 新型コロナによる中止
5月	働き方改革チーム	階層別交流会名簿と計画の配布
	採用チーム	会議① チームの目的の確認と年間計画について
6月 8日	働き方改革チーム	アシックスシューズ説明会の開催
	育成チーム	会議② 接遇研修について・新人研修アンケート結果について
	働き方改革チーム	会議② アシックスシューズ測定会の振り返り 研修について 作業点検
7月 16日	働き方改革チーム	会議③ 研修について リラックス用具の導入について 作業点検
	育成チーム	階層別交流会 (Aチーム) 開催
	採用チーム	会議② しがプロインターンについて
8月 ~3月	育成チーム	接遇研修実施
	育成チーム	会議③ 書面開催
	採用チーム	インターシップの実施 (5日間 2名)
9月 11日	採用チーム	甲賀市湖南市合同JOBフェア参加 (Web開催)
	働き方改革チーム	会議④ メンタルヘルス研修について 作業点検
	採用チーム	会議③ インターンシップ振り返り・就職フェアについて
	育成チーム	階層別交流会 (Bチーム) 開催
10月 5日	採用チーム	シガシルWebジョブフェア2020 参加
	働き方改革チーム	メンタルヘルス研修開催
	育成チーム	会議④ 接遇研修・交流会中間報告 メンター研修報告
	働き方改革チーム	会議⑤ 介護技術研修について 作業点検
	採用チーム	カイゴとフクシ就職フェア in しが 2020秋 参加
	育成チーム	階層別交流会 (Cチーム) 開催
11月 14日	採用チーム	京都女子大学UIJターン企業懇談会参加
	働き方改革チーム	ケアセンターささゆり見学 (抱え上げない介護について)
	採用チーム	会議④ 採用コンセプト設計
	採用チーム	(株) いろあわせ コンセプト設計についての打ち合わせ
	育成チーム	階層別交流会 (Dチーム) 開催
12月 14日 1月 ~28日	採用チーム	インターシップの実施 (5日間 1名)
	育成チーム	会議⑤ 次年度の研修アンケートについて BS交流会について
	働き方改革チーム	会議⑥ コミュニケーション向上に向けた取り組みについて 作業点検
	育成チーム	階層別交流会 (Aチーム) 開催
令和3年 1月 20日	働き方改革チーム	会議⑦ 次年度の取り組みについて 作業点検
	採用チーム	会議⑤ しがプロインターンについて 事業計画について
	採用チーム	採用画面「しがとしごと」取材

	27日	育成チーム	階層別交流会（Bチーム）開催
	28日	採用チーム	カイゴとフクシ就職フェア in しが 参加
2月	11日 ～22日	採用チーム	インターシップの実施 （5日間 1名）
	12日	育成チーム	階層別交流会（Cチーム）開催
	13日	採用チーム	カイゴとフクシ就職フェア in しが 参加（Web）
	15日	人材育成委員会	各チームの連携について 次年度事業計画について
	19日	育成チーム	会議⑥ 研修アンケート結果について 事業計画 新人研修の内容について
	27日	採用チーム	福祉の仕事 就職フェア 参加
	4日	採用チーム	FACE TO FUKUS I 就職フェア 参加（Web）
3月	5日	育成チーム	階層別交流会（Dチーム）開催
	10日	採用チーム	かいご・ふくし就職説明会 参加
	11日	採用チーム	女性活躍推進のためのお仕事フェア 参加
	17日	働き方改革チーム	会議⑦ 1年の総括 作業点検
	24日	採用チーム	しがヤングジョブフェア Web参加
	24日	採用チーム	しがヤングジョブフェア 参加

## (6) 感染対策委員会

特養においては、流行前から超音波クールミスト加湿器を活用し3年連続でインフルエンザ発症を抑えることができた。

世界的に流行した新型コロナウイルス感染症の疾患の理解や対策について、Web や動画での学習を行った。さらにマスクだけでなくフェースシールドでの対応、出勤時の検温記録、うがい手洗い手指消毒の徹底、定期的な換気を徹底し、冬場には大型加湿器やミスト噴霧器を導入し湿度の維持にも努めた。万が一の発生の対応についても、マニュアル化やシミュレーションを行うなど、職員間で情報共有に努めた。

月 日	実 績
令和2年 4月 8日	新人研修 「感染症予防について」「高齢者に多い疾患」他
5月 4日	会議① 今年度計画と目標・研修計画、新型コロナ対応
～ 5月 25日 6月 30日	感染症対策研修① 「福祉・介護施設における新型コロナウイルス感染症」について Web 動画学習
8月 10日	会議② ミニクローラー水について、新型コロナ対応
9月 29日	夜勤者健康診断の実施（密にならない場所と時間割の設定）
10月 1日 ～31日	感染症対策研修②の実施 「新型コロナウイルス感染症対応ガウンテクニックについて」Web 動画学習
10月 10日	特養肺炎球菌ワクチン予防接種の実施
10月 16日 ～30日	職員インフルエンザ予防接種
10月 21日	利用者健康診断の実施
11月 6日	利用者インフルエンザ予防接種
12月 27日	会議③ 感染症研修についての反省と感想
令和3年 2月 8日	会議④ 新型コロナウイルス感染症について 職員検診について
3月 2日	職員健康診断の実施

### (7) 重度化対策委員会（褥瘡予防・看取りケア）

特養での重度化が進み、ベッド上で過ごされる時間が増え、認知症の進行で摂食障害の利用者も多い中、6名の褥瘡発生となった。低栄養リスクに対する取り組みを多職種協力により行い、栄養補助食品を取り入れたり、体位交換マクラや除圧などを工夫することで、そのうち5名が治癒できた。

看取りケアについては、看取り診断を受ける利用者も増え1月あたり7～9名が対象となっている。今年度は、委員会として初の試みで「偲ぶ会」を開催した。看取りケアをさせていただいた家族から貴重な声を聞かせていただき、さらにグループワークを通じて、人生の最期の時を家族に代わりケアさせていただける醍醐味を感じ、職員の精神的不安の軽減となった。

月 日	実 績
令和2年 5月 4日	会議① 今年度計画と目標・研修内容について
6月 12日	褥瘡予防研修 褥瘡予防と褥瘡ケアについて 看取りケア研修 看取りの指針・看取りを行ってのグループワーク
7月 10日	
9月 9日	会議② 褥瘡研修・看取り研修 評価報告 自己評価について
11月 2日	会議③ 重度化アンケートについて
令和3年 1月 11日	会議④ 偲ぶ会の検討
2月 22日	特養対象 プレーデンスケール評価
2月 19日	ショートステイ対象看取り介護についてまなぶ
2月 22日	会議⑤ 偲ぶ会の打ち合わせ
3月 12日	看取りケア研修：偲ぶ会

### (8) ボランティア・地域貢献委員会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年4月よりボランティアの受け入れが中止となった。小学校への出前講座やせせらぎ苑の見学も中止となり、子どもたちとの交流を楽しみにされている利用者さんにとっては辛い一年となった。

月 日	実 績
令和2年 4月 28日	会議① 今年度計画について
7月 7日	会議② 委員会活動について
10月 20日	会議③ 他施設のボランティア活動状況についての電話調査
令和3年 3月 2日	会議④ 今年度の総括と次年度計画について

### (9) 広報・情報公開委員会

開設より発行してきた広報紙「清流」について、引き続き年3回（90～92号）発行することができた。特に今年度は、新型コロナウイルス感染症流行により、面会中止などもあり、ご家族等にせせらぎ苑での様子をわかりやすく発信できるよう、広報委員会で職員が協力しあい、写真が多く手作り感のある「清流」を作成した。

今年度もサービス向上委員会「介護事故・苦情要望チーム」が実施した利用者家族アンケートの結果を清流で公表するなど委員会を越えた連携を発揮した。

もう一つのミッションである施設のパンフレットについては、次年度完成に向けてプロジェクトを少しずつ進行できた。

月 日	実 績	
令和2年 5月 27日	会議①	紙面会議
6月 24日	会議②	広報紙について
7月	広報紙	「清流」90号発行
8月 26日	会議③	紙面会議
11月 25日	会議④	紙面会議
12月	広報紙	「清流」91号発行
12月 23日	会議⑤	紙面会議
令和3年 3月	広報紙	「清流」92号発行

7. 事業別事業報告

(1) 特別養護老人ホーム（介護老人福祉施設） 定員68名：多床室・従来型個室

①入所者の状況

令和3年3月末 入所者数	内訳		
	県内	県外	入居中(再掲)
男： 16	16	0	2
女： 50	49	1	4
計： 66	65	1	6

令和2年度新規入所者				令和2年度退所者				
在宅	病院	その他	計	入院	他施設	死亡	在宅	計
3	3	5	11	3	1	2	0	6
7	1	7	15	4	0	19	0	23
10	4	12	26	7	1	21	0	29

死亡退所の内11名について看取りケア実施

②年齢別入所者状況（令和3年3月末現在）

	～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100～	計
男性	0	0	2	4	3	3	3	1	0	16
女性	0	0	3	0	10	12	14	11	0	50

③身体拘束等入所者制限行為の状況

(有・無)

対象者数	行為の内容	やむを得ず制限した理由
0名		

④令和3年3月末現在

最高齢	最年少	平均年齢
99	70	87.8

⑤預り金等の状況

令和3年3月末 施設管理入所者数	預り金総額	一人当たりの預り金(平均)	個人別の状況	
			最高額	最低額
3 人	5,165,192 円	1,721,730 円	4,014,846 円	716,857 円

⑥待機者状況（令和3年3月末）

待機者数	内 訳		
	甲南町内	甲賀市内 (甲南以外)	その他 (甲賀市外)
156	57	80	19

⑦利用料金額の状況（令和3年3月）

平均利用料金(月額)	75,307 円
月額利用料最高額	171,089 円
月額利用料最少額	41,988 円

※入院・外泊者等・生活保護受給者を除く

⑧介護報酬請求状況

		実人数 (令和3年3月)	令和2年度 延べ人数 (人数)	令和元年度 延べ人数 (人数)
要 介 護 度 等 の 状 況	要介護1	2	749	544
	要介護2	1	611	606
	要介護3	12	4,878	2,492
	要介護4	28	9,614	10,653
	要介護5	24	7,265	8,603
	合計	67	23,117	22,898

平均要介護度	3.95 (R元年度：4.14)
定員充足率	93.1% (R元年度：92.0)

加算請求状況	延べ件数
栄養マネジメント	23,117
入院外泊	344
初期加算	821
日常生活継続支援加算	23,117
生活機能向上連携加算	809
看護体制加算Ⅰ	23,117
看護体制加算Ⅱ	23,117
再入所時栄養連携加算	0
退所前連携加算	0
口腔衛生管理体制加算	809
夜勤職員配置加算	23,117
看取り介護加算	256 (11人)

⑨措置入所状況

事由	著しい介護困難
実人数	6 人
延べ利用日数	790 人
延べ在籍日数	790 人

⑩医療処置の必要な入所者数(令和3年3月)

胃ろう	2 (3)	褥瘡処置	1 (3)
バルーンカテーテル留置	1 (2)	痰吸引	0 (1)
在宅酸素療法	0 (1)	インシュリン注射(血糖測定)	1 (1)

※( ) 内年度内最大人数



(2) ショートステイ(短期入所生活支援事業) 定員20名：従来型個室

①介護報酬請求状況

		実人数 (令和3年3月末)	延べ人数 令和2年度 年間人数	延べ人数 (令和元年度 年間人数)
要介護度等の 状況	要支援1	0	0	6
	要支援2	0	0	73
	要介護1	12	633	703
	要介護2	24	1,282	1,816
	要介護3	19	1,993	1,626
	要介護4	12	1,533	1,248
	要介護5	10	1,016	1,170
	その他	0	0	0
	合計	77	6,457	6,642
暦日数			365	366

②利用者に係る居宅サービス  
計画作成事業所(令和3年3月)

	居宅介護支援事業所名	件数
1	せせらぎ苑居宅介護支援センター	12
2	ケアプランセンター心地	11
3	ひなたぼっこ居宅介護支援センター	11
4	甲賀市社協ケアプランセンターぬくもり	9
5	甲賀市社協ケアプランセンターあい	5
6	その他	29
計		77

③措置入所状況

事由	著しい介護困難
実人数	0 人
延べ人数	0 人

平均要介護度	3.14	(R元年度：3.02)
定員充足率	88.5%	(R元年度：90.7%)

(3) デイサービスセンター(通所介護事業) 定員40名/日

①利用者の状況 (令和3年3月登録者)

曜日	月	火	水	木	金	土	日	計
人数	37	32	38	34	35	36		212

※登録のみ当月利用なしの利用者含む

※複数回利用のため重複利用者あり

②要介護度等の状況(デイサービス)

		実人数 (令和3年3月利用)	延べ人数 令和2年度 年間人数	延べ人数 (令和元年度 年間人数)
介護報酬	要支援1	1	7	42
	要支援2	2	134	317
	要介護1	21	2,537	2,407
	要介護2	20	1,776	1,779
	要介護3	16	2,104	1,583
	要介護4	14	1,439	1,617
	要介護5	9	789	773
	その他	0	0	0
	合計	83	8,786	8,518
※短時間利用者含む人数				
事業日数			309	311

③利用者に係る居宅サービス  
計画作成事業所(令和3年3月)

	居宅介護支援事業所名	件数
1	せせらぎ苑居宅介護支援センター	24
2	仁生会居宅介護支援事業所	14
3	ひなたぼっこ居宅介護支援事業所	13
4	その他	29
計		80

平均要介護度 ( )内令和元年度	2.52 (2.47)	入浴利用延べ人数 ( )内令和元年度	7,557 (7503人)
1日平均利用者数 ( )内令和元年度	28.4 (27.4人)	入浴利用率 ( )内令和元年度	86.0% (88.1%)

④年齢別利用者状況 (令和3年3月登録者)

	~64	65~69	70~74	75~79	80~84	85~89	90~94	95~99	100~	合計
男性	0	1	2	4	1	8	5	3	0	24
女性	1	1	2	5	6	19	16	10	1	61

最高齢	最年少	平均年齢
101	58	87.3

(4) ケアハウス 定員15名 全室個室

①入居者の状況

令和3年3月末 入所者数	内訳		入居経路			入居前住所地							
	在籍者	うち 入院者	在宅	病院	その他	甲南	水口	土山	甲賀	信楽	湖南	彦根	他府県
男	8	0	6	0	2	2	2	2	0	0	2	0	0
女	7	0	7	0	0	1	2	0	2	0	0	1	1

②入居者年齢別入所状況(令和3年3月末現在)

	～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100～	計
男性	0	0	1	1	2	2	1	0	1	8
女性	0	0	0	1	1	3	1	1	0	7

令和3年3月末現在

最高齢	最年少	平均年齢
100	73	85.6

③要支援・要介護認定申請状況(令和3年3月末現在)

要介護度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	非該当 ・未申請
人数	3	3	5	1	0	0	0	3
令和元年度	1	1	5	1	1	0	0	6

④年度内入退居者の状況

入居者数	退居者数	退所の理由			
		死亡	入院	在宅へ	他施設
4	4	2	0	0	2

⑤利用料金額の状況(令和3年3月分)

平均利用料金(月額)	92,707
月額利用料最高額	157,532
月額利用料最少額	67,170

入院・外泊者等を除く

⑥収入認定階層別人数

	令和3年3月	年間延べ月数
階層1	9	102
階層3	1	12
階層4	0	9
階層5	1	12
階層7	1	12
階層8	1	4
階層13	1	12
階層18	1	12

⑦令和3年3月末 待機者数

合計	内 訳							
	甲南	水口	信楽	土山	甲賀	湖南市	市外 県内	他府県
15	7	2	1	0	2	0	0	3

(5) 居宅介護支援事業所

利用者等の状況

		利用人数 令和3年3月	延べ人数 (年間人数)	延べ人数 (令和元年度)
契約件数		101	1,289	1,223
計画費請求件数		93	1,189	1,157
新規契約件数		2	13	28
サービス担当者会議 開催回数		8	116	146
介護 給付	要介護1	25	327	297
	要介護2	23	256	223
	要介護3	13	150	118
	要介護4	5	111	128
	要介護5	1	6	35
	その他	0	0	1
予防 給付	事業対象者	1	12	11
	要支援1	7	107	129
	要支援2	18	220	215

(6) 訪問介護事業利用者状況

①要介護度等の状況

		実人数 (令和3年3月)
契約者 数	要支援1	0
	要支援2	5
	要介護1	2
	要介護2	6
	要介護3	4
	要介護4	1
	要介護5	1
	その他	0
	合計	19

		介護報酬請求	延件数人数 (令和2年度)	延件数人数 (令和元年度)
介護 給付	身体介護～20		663	437
	身体介護～30		1,759	2,669
	身体介護～60		604	433
	身体介護60～		62	0
	身30生20		199	112
	身30生45		69	15
	身30生70		0	0
	身60生20		106	104
	身60生45		25	17
	生活援助～45		69	66
	生活援助45～		169	184
	合計		3,725	4,037
	予防 給付	予防Ⅰ		44
予防Ⅱ			168	181
予防Ⅲ			0	0
合計			212	297

②利用者に係る居宅介護(予防)サービス計画作成事業所連携の状況 (令和3年3月)

	居宅介護支援 事業所名	件数
1	せせらぎ苑居宅介護支援センター	8
2	居宅介護支援センターさと水口	4
3	心和ケアプランセンター	1
4	その他	1
	計	14

	地域包括支援セン ター委託事業所	件数
1	甲南信楽地域包括支援センター	3
2	その他	0
	計	3

(7) 認知症対応型生活介護事業(グループホーム) 定員18名：全室個室

①グループホーム入居者の状況

令和3年3月末 入所者数	内訳					令和2年度新規入居者				令和2年度退居者				
	甲南	水口	信楽	土山	甲賀	在宅	病院	その他	計	入院	他施設	死亡	その他	計
男： 5	2	1	1	0	1	1	0	0	1	0	0	2	0	2
女： 13	11	0	1	0	1	2	0	2	4	1	0	2	0	3

※※死亡退居の内2名について看取りケア実施

②年齢別入所状況

	～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100～	合計
男性	0	0	0	0	0	2	2	1	0	5
女性	0	0	0	0	2	7	1	3	0	13

最高齢	最年少	平均年齢
99	80	89.4

③要介護度等の状況(グループホーム)

		実人数 (令和3年3月)	延べ人数 (年間人数)	延べ人数 (令和元年度)
介護報酬	要介護1	1	428	913
	要介護2	6	2,126	1,727
	要介護3	6	2,347	2,636
	要介護4	4	1,191	386
	要介護5	1	365	601
	合計	18	6,457	6,263

平均要介護度 ( ) 内令和元年度	2.84 (2.69)
定員充足率 〔 〕 内短期利用含 ( ) 令和元年度	98.3% 【98.5%】 (95.1%)

④短期入所利用・共用型デイ

短期入所利用※	13 人
共用型デイ	90 人

※甲賀市委託事業「生活支援ハウス」利用含む

⑤認知症高齢者の日常生活自立度

	令和3年3月末
I	0
IIa	2
IIb	1
IIIa	13
IIIb	1
IV	1
M	0

⑥入居期間

最長入居期間	13年2カ月
最短入居期間	4カ月
平均入居期間	3年5カ月

⑦身体拘束等入居者制限行為の状況 (有・無)

対象者数	行為の内容	やむを得ず制限した理由
0 名		

⑧利用料金額の状況 令和3年3月

平均利用料金(月額)	165,017 円
月額利用料最高額	214,468 円※
月額利用料最低額	154,000 円

※3割負担利用者  
入院・外泊等除く

⑨待機者状況 (令和3年3月)

月末 待機 者数	内 訳					
	甲南	水口	信楽	土山	甲賀	その他
21	8	6	2	0	3	2

## 8. 職員の状況等

### (1) 学会発表

新型コロナウイルス感染症により、各種学会中止・延期等により今年度はなし。

### (2) 外部研修・講師派遣等

実施年月日	講座名		人数
令和2年 10月22日	特定非営利活動法人滋賀県社会就労事業振興センター	2019年度障害者介護職員養成事業	1名
令和2年 11月29日	特非)街かどケア滋賀ネット	外国人介護職員養成研修	1名
令和2年 11月30日	龍谷大学	高齢者福祉施設における社会福祉実践論	1名

### (3) ボランティア・実習生受け入れ状況

#### ○ボランティア受入実績

活動延人数	個人	団体 ( )内団体数	
環境整備	137	0	
交流		44	(1)
QOL	22	0	
整容など	0	0	
その他	0	0	
小計	159	44	(1)
合計	159		
※グループホーム含む		令和元年度 974人	

#### ○施設実習受入実績

実習種別	延人数
社会福祉士(援助技術)実習	0
介護福祉士実習	48
高校介護実習	15
教員免許取得に係る施設実習	0
その他(職場体験)	3
看護学校(老年看護学実習)	24
合計	90
令和元年度 43人	

### (4) 車両管理

平成30年度から、福祉車両については、専門性の高い修理や保守を行うことができる業者を利用することとし、細やかなメンテナンスを行うことで安全性が向上した。

車両については、利用者の送迎や受診、自宅訪問等の用途として17台の管理について安全運転管理者を中心に行っているが、今年度については18件の事故報告があった。内訳として、送迎中の自損事故が中心で、狭い道での縁石や石垣との接触が多く、大事には至らなかったが狭い道でのミラー同士の接触もあった。原因不明の損傷については、乗車前点検で発見されており、確認・報告体制の徹底を強化したい。なお、それぞれ事故後の対応については、自動車保険によりその都度弁済、修理を行った。また今年度は、車いす4基積みのリフト付き普通車1台について、安全性・快適性の面から新車への入替を行った。

### (5) 働き方改革と処遇改善加算状況

令和2年4月からは、働き方改革法における「雇用形態にかかわらず公正な待遇の確保」に対応すべく、改めて各職種や部門ごとに職務を整理し、正規職員と非正規職員の業務や責任の差を明らかにし、支給する給与や手当について規程を改正し、その対応を行った。

平成21年度に介護職員処遇改善交付金として始まった、介護職員の処遇改善については、今年度も介護職員処遇改善加算Ⅰを算定し、年間33,981,829円(令和元年度 33,369,707円)の加

算を算定した。また、令和元年10月から創設された「介護職員等特定処遇改善加算」については、年間9,340,780円を算定した。(令和元年度6か月算定 4,605,584円)なお、これらについては、今年度も適正に職員の処遇に反映した。

	介護職員処遇改善加算	介護職員等特定処遇改善加算	合計
介護老人福祉施設	16,804,738	5,466,091	22,270,829
短期入所生活介護	4,743,221	1,314,476	6,057,697
通所介護	4,499,302	761,982	5,261,284
認知症対応型生活介護	6,335,850	1,312,901	7,648,751
認知症対応型生活介護短期利用	2,803	585	3,388
認知症対応型共用型通所介護	57,481	13,259	70,740
訪問介護	1,448,782	444,085	1,892,867
甲賀市介護予防日常生活支援事業(訪問)	89,652	27,401	117,053
合計	33,981,829	9,340,780	43,322,609

※対象外事業：ケアハウス・居宅介護支援事業

## (6) 施設内研修実施状況

実施日	対象区分			実施場所	研修内容 講師	研修時間	参加人員
	正規 嘱託 職員	一部 職員	非常勤 職員				
令和2年4月1日～ 4月17日		○ 新人		会議室	新人研修「社会人マナー・制度・感染症・リスクマネジメント他」 各部門担当職員	323.0	8
令和2年4月13日		○ SW,CM		会議室	権利擁護、高齢者虐待防止研修 成年後見センターばんじ 所長	2:15	9
令和2年4月14日		○ 居宅		居宅介護 支援 センター	基本理念について 居宅介護支援センター管理者	0:30	4
令和2年4月17日		○ GH		グループ ホーム	便秘について 甲南病院 医師	0:30	3
令和2年4月17日		○ デイ、 ショート		ショート ステイ	排泄介助について～正しい当て方とコツ、オムツの特性～ 施設介護室 副室長	1:15	11
令和2年5月15日		○ ショート ステイ		ショート ステイ	新型コロナウイルス感染症対策を含む緊急連絡・対応マニュアル研修 在宅介護室 室長	1:00	10
令和2年5月25日 ～6月30日	○		○	動画学習	福祉・介護施設における新型コロナウイルス感染症について(動画学習) 長崎大学病院感染教育センター 副センター長	0:20	146
令和2年6月5日		○ 介護科 リーダー		デイ サービス センター	介護科 リーダー研修 介護科長	1:30	9
令和2年6月12日		○ 特養		デイ サービス センター	褥瘡予防研修 医務看護室副室長	0:30	15
令和2年6月19日		○ ショート ステイ		ショート ステイ	緊急対応現場シミュレーション研修 在宅介護室 室長・副室長	1:00	9
令和2年6月25日		○ 役職者		デイ サービス センター	役職者研修、人権研修 苑長	1:00	18
令和2年6月25日、 7月2日、9日(他、部署別実施)	○		○	動画学習	身体拘束適正化研修 ケアスタイルズコンサルティング無料教材	0:30	141
令和2年7月2日、9日		○ 中堅(2 年目～ 副主任)		デイ サービス センター	中堅研修、人権研修 苑長	1:00	39
令和2年7月10日		○ 特養		デイ サービス センター	看取り研修 医務看護室 副室長	1:00	16
令和2年7月14日		○ GH		グループ ホーム	グループホーム入居者が受けておられる制度について グループホーム室 副室長	0:30	7
令和2年7月17日		○ ショート ステイ		ショート ステイ	意識消失と喉つめの対応研修 在宅介護室室長、副室長 医務看護室 副室長	1:00	8
令和2年8月13日 ～3月24日	○		○	地域交流 ルーム	接遇研修 育成チーム	0:30	114
令和2年9月17日			○ 特養	デイ サービス センター	せせらぎ苑での新型コロナの今後の対策について 介護科長	1:00	8
令和2年9月24日		○ SW		デイ サービス センター	福祉科会議(生活相談員とは) 福祉科長	1:00	6

実施日	対象区分			実施場所	研修内容 講師	研修 時間	参加 人員
	全正規 嘱託職	一部職員	非常勤 職員				
令和2年10月13日、16日 11月27日		○ 特養 ショート GH	○ 特養	各現場	リスクマネジメント研修 介護事故・苦情要望検討チーム員	1:00	40
令和2年10月19日		○ 役職者		ケアハウス 食堂	メンタルヘルス研修 アンダーマネジメント基礎講座 産業カウンセラー	0:15	14
令和2年10月31日 ～11月18日	○		○	動画学習	新型コロナウイルス感染症に対する個人防護具の適切な着脱方法(動画学習) 長崎大学病院感染教育センター 副センター長	0:20	156
令和2年11月5日		○ 役職 者、採 用チー		デイ サービス センター	役職者研修 (株)いろあわせ	2:45	17
令和2年11月23日 ～令和3年1月8日	○		○	動画学習	身体拘束適正化研修 ケアスタイルズコンサルティング無料教材	0:30	146
令和2年12月25日		○ 特養		デイ サービス センター	身体拘束適正化研修 介護科長	0:30	8
令和2年12月31日 ～令和3年2月26日	○			動画学習	メンタルヘルス研修 アンダーマネジメント基礎講座 産業カウンセラー	0:15	36
令和3年1月1日 ～3月27日	○		○	動画学習	リスクマネジメント研修 ケアスタイルズコンサルティング無料教材	0:35	128
令和3年2月12日		○ ケアマネ ジャー		ケアハウス 食堂	福祉課会議～相談力UPにつなげる～ 福祉科長	1:00	7
令和3年2月19日		○ ショート ステイ		デイ サービス センター	看取り介護について学ぶ 医務看護室 副室長	0:30	10
令和3年3月12日		○		デイ サービス センター	偲ぶ会 介護科長、(利用者家族)	1:30	27

合計 1,170人

※延1,030.5時間

※令和元年度 延1,160人 1,289.2時間



(7) 施設外研修実施状況（人権研修含む）

新型コロナウイルス感染症感染防止のため、年度初めは、研修の中止が相次いだ。年度途中から、Web研修が一般化し、移動時間が不要であることから、受講促進ができた。

実施年月日	講座名	参加人数	場所
2.4.6	協同組合一心 見学会（外国人受入）	1	大阪
2.6.26	滋賀県外国人材受入サポートセンター WEBセミナー（外国人受入）	1	WEB
2.7.2	ケアマネ協 施設研修部会	1	大津
2.7.3	滋賀の縁創造実践センター 第1回「滋賀県災害福祉チーム(LがDWAT)」養成研修開催	5	大津
2.7.8	滋賀労働基準協会 安全衛生推進者養成講習	2	大津
2.7.9	滋賀労働基準協会 安全衛生推進者養成講習	2	大津
2.7.10	滋賀産業保健総合支援センター アンガーマネジメント実践講座	1	大津
2.7.16	甲南地域包括支援センター 主任介護支援専門員会議	1	甲賀
2.8.11	滋賀の縁創造実践センター 縁アカデミー プレ企画第2弾 滋賀の福祉人セミナー	1	草津
2.8.24	災害支援市民ネットワークしが 福祉避難所の運営を考える	2	大津
2.8.27	県社協 令和2年度滋賀県認知症介護実践者研修 1/8	3	草津
2.8.28	甲賀市介護サービス事業者協議会 感染症セミナー	1	甲賀
2.9.2	県社協 令和2年度滋賀県認知症介護実践者研修 2/8	2	草津
2.9.8	甲賀市 令和2年度困窮調査 調査員説明会	1	甲賀
2.9.8	県社協 令和2年度滋賀県認知症介護実践者研修 3/8	2	草津
2.9.11	滋賀県病院協会 介護サービス事業者等感染管理リスクマネジメント研修会	1	大津
2.9.15	県社協 令和2年度滋賀県認知症介護実践者研修 4/8	2	草津
2.9.15	高齢・障害・求職者雇用支援機構 高齢・障害者雇用助成金説明会	1	甲賀
2.9.16	県社協 令和2年度認知症介護基礎研修	2	草津
2.9.23	県社協 令和2年度滋賀県認知症介護実践者研修 5/8	2	草津
2.9.28	滋賀県病院協会 高齢者介護におけるゾーニング研修会	1	湖南
2.9.29	県社協 令和2年度滋賀県認知症介護実践者研修 6/8	2	草津
2.10.6	県社協 メンター育成研修 1/3	3	草津
2.10.7	企業内人権啓発 経営者研修会	1	WEB
2.10.13	県社協 メンター育成研修 2/3	3	草津
2.10.16	甲賀健康福祉事務所 甲賀圏域社会福祉施設等新型コロナウイルス感染対策研修会	3	WEB
2.10.27	県社協 令和2年度 認知症介護実践リーダー研修1/11	1	草津
2.11.5	県社協 「オンライン！福祉用具セミナー・展示会2020」	3	WEB
2.11.10	県社協 令和2年度 認知症介護実践リーダー研修 2/11	1	草津
2.11.11	滋賀県介護サービス事業者協議会 令和2年度要介護度改善研修会	1	WEB
2.11.12	大阪府社協 施設福祉部 令和2年度 経営改善基礎講座1/3	3	WEB
2.11.12	滋賀県医療福祉部 令和2年度介護支援専門員実務研修にかかる実習受入説明会	1	草津
2.11.12	県社協 令和2年度 認知症介護実践リーダー研修 2/11	1	草津
2.11.17	県社協 令和2年度滋賀県認知症介護実践者研修 7/8	2	草津
2.11.18	県社協 令和2年度滋賀県認知症介護実践者研修 8/8	2	草津
2.11.18	水口納税協会 「令和2年度年末調整のポイント」セミナー	1	甲賀
2.11.24	リコージャパン SDGsをジブゴトにする	1	WEB
2.11.25	県社協 令和2年度 認知症介護実践リーダー研修 3/11	1	草津
2.11.25	県社協 縁アカデミープレ企画「ゆくりじゅりケースメソッド～考えるを振り返る事例学習会～」第1回	1	WEB
2.11.26	全国経営協 青年会 令和2年度研修企画事業 専門講座第1回	1	WEB
2.11.26	甲賀市甲賀・甲南地域包括支援センター 令和2年度第2回甲賀・湖南地域介護支援専門員研修会	3	甲賀
2.11.27	甲賀市 令和2年度 ステップアップ連続講座 第1講座	1	甲賀
2.12.3	(県)経営協 令和2年度青年部会研修会「人材を生かし育む“叱り”の極意」の開催	8	WEB
2.12.3	(県)経営協 令和2年度青年部会研修会「人材を生かし育む“叱り”の極意」の開催	1	草津
2.12.3	県社協 令和2年度 認知症介護基礎研修	3	草津
2.12.4	日本CH協 令和2年度 新型コロナ対策研修	5	WEB
2.12.8	滋賀県社会福祉協議会 令和2年度しが介護の現場新任職員 フォローアップ研修・交流会	2	WEB
2.12.9	甲賀市介護サービス事業者協議会 感染症対策セミナー2 研修会	1	甲賀
2.12.9	県社協 令和2年度 認知症介護実践リーダー研修 4/11	1	草津
2.12.10	大阪府社協 施設福祉部 令和2年度 経営改善基礎講座 2/3	3	WEB
2.12.11	県社協 メンター育成研修 フォローアップ研修	3	草津
2.12.14	甲賀市企業人権啓発推進協議会 甲賀市企業内人権啓発窓口担当者第2回ステップアップ連続講座	1	WEB
2.12.15	NOMA 「中堅社員育成から始める組織活性化」	1	WEB
2.12.16	滋賀県公安委員会 安全運転管理者講習	1	甲賀
2.12.16	県社協 縁アカデミープレ企画「ゆくりじゅりケースメソッド～考えるを振り返る事例学習会～」第2回	1	WEB
2.12.21	滋賀県介護支援専門員連絡協議会 事業種別会員研修会 『看取り期におけるチームアプローチの事例を通して学ぶ』	2	草津
2.12.21	滋賀県介護支援専門員連絡協議会 事業種別会員研修会 『看取り期におけるチームアプローチの事例を通して学ぶ』	1	WEB
2.12.21	甲賀市 「介護しやすい環境を目指す研修会」	1	甲賀

実施年月日		講座名	参加人数	場所
2.12.22	厚生労働省	介護ロボット地域フォーラム事業	4	WEB
3.1.7	県社協	令和2年度 認知症介護実践リーダー研修 5/11	1	草津
3.1.12	甲賀市	令和2年度 甲賀・湖南・信楽地域認知症初期集中支援チーム会議	1	甲賀
3.1.14	大阪府社協 施設福祉部	令和2年度 経営改善基礎講座 3/3	2	WEB
3.1.14	滋賀県看護協会	リスタートサポート研修 1/7	1	草津
3.1.18	県社協	令和2年度 認知症介護実践リーダー研修 6/11	1	草津
3.1.19	滋賀県看護協会	リスタートサポート研修 2/7	1	草津
3.1.20	全国経営協	令和2年度 監事専門講座	1	WEB
3.1.20	日本産業カウンセラー協会	産業カウンセラー 資格登録更新研修	1	WEB
3.1.20	滋賀県看護協会	リスタートサポート研修 3/7	1	草津
3.1.21	全国経営協	令和3年度 監事専門講座	1	WEB
3.1.21	滋賀県看護協会	リスタートサポート研修 4/7	1	草津
3.1.23	滋賀県看護協会	看護師職能委員会 II	2	WEB
3.1.27	滋賀県看護協会	リスタートサポート研修 5/7	1	草津
3.1.28	滋賀県看護協会	リスタートサポート研修 6/7	1	草津
3.1.28	県社協	令和2年度 認知症介護実践リーダー研修 7/11	1	草津
3.1.29	NOMA	オンラインインストラクター養成講座	1	WEB
3.1.29	厚生労働省	女性活躍推進説明会・相談会WEBセミナー	1	WEB
3.1.29	滋賀県看護協会	リスタートサポート研修 7/7	1	草津
3.2.4	滋老協甲賀ブロック	令和2年度第2回甲賀ブロック施設長会議	1	甲賀
3.2.4	独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構	令和2年度 障害者職業生活相談員資格認定講習	1	草津
3.2.5	独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構	令和3年度 障害者職業生活相談員資格認定講習	1	草津
3.2.5	甲賀湖南介護支援専門員連絡協議会	令和2年度研修会「新型コロナウイルス感染対策とケアマネの役割」	1	WEB
3.2.5	滋賀県介護支援専門員連絡協議会	ケアマネジメントプロセス研修会	1	WEB
3.2.8	全国社会福祉法人 経営協	令和2年度「社会福祉法人会計実務者決算講座」	1	WEB
3.2.8	県社協	令和2年度 認知症介護実践リーダー研修 8/11	1	草津
3.2.9	甲賀市	「女性活躍推進のためのお仕事フェア」事前セミナー	1	甲賀
3.2.9	全国社会福祉法人 経営協	「初級リスクマネジャー養成講座2020」	1	WEB
3.2.10	全国社会福祉法人 経営協	「初級リスクマネジャー養成講座2020」	1	WEB
3.2.10	高齢・障害・求職者雇用支援機構	障害者雇用給付金制度事務説明会	1	甲賀
3.2.12	滋賀県商工観光労働部	令和2年度 事業所内公正採用選考 研修者・セミナー	1	WEB
3.2.12	県社協	令和2年度 認知症介護実践リーダー研修 9/11	1	草津
3.2.15	県社協	令和2年度身体拘束ゼロセミナー	3	WEB
3.2.15	滋賀県看護協会	リスタートサポート研修 ヴィラ12坊	1	湖南
3.2.16	WHILL社	2021年度介護報酬改定ポイントセミナー	3	WEB
3.2.17	近畿経営協	近畿ブロックオンラインセミナー	1	WEB
3.2.17	日本認知所グループホーム協会	令和2年度 第2回職員研修 グループホームに於ける人材育成	1	WEB
3.2.20	県社協	カイゴとフクシ就職フェアinしが	2	草津
3.2.22	県社協	「滋賀の“縁”」認証決定及び認証式	1	草津
3.2.24	県社協	令和2年度 認知症介護実践リーダー研修 10/11	1	草津
3.2.25	県介護サービス事業者協議会連合会	令和2年度介護サービス事業所・施設管理者等研修会	6	WEB
3.2.26	滋賀県	令和2年度甲賀地域 地域歯科保健推進研修会	2	甲賀
3.2.26	県社協	メンター成果報告会 3/3	1	草津
3.2.16~3.8	中央福祉学院	令和2年度社会福祉法人経営者研修 人事管理コース	2	WEB
3.3.2	協会けんぽ	これから始める健康経営・健康づくりセミナー	2	WEB
3.3.10	日本ノーリフト協会	ノーリフトケアコーディネーター養成講座 セッション2	2	WEB
3.3.11	県社協	滋賀県災害派遣福祉チーム(しがDWAT)チーム員向上訓練	3	大津
3.3.17	滋賀県看護協会	2020年度 第3回リスタートナースサポート研修交流会	1	草津
3.3.22	県社協	令和2年度 認知症介護実践リーダー研修 11/11	1	草津
3.3.23	全国老協協	ブランディング&PRセミナー	1	WEB
3.3.23	県社協	2020年度企業・団体の社会貢献活動セミナー	4	WEB
3.3.29	滋老協	令和2年度人権研修・第2回通常総会	1	草津
3.3.10	全国老協協	令和2年度社会福祉法人会計基準実践的決算講習	1	WEB
M33.11.17			合計 183人	令和元年度 322人

(8) 職員配置数

	施設長	事務員			生活相談員		介護支援専門員		管理栄養士		介護職員		看護職員		機能訓練指導員		調理員		医師	その他		実人員	常勤換算計
		常勤	非常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	非常勤	非常勤		非常勤	非常勤		
令和元年度末	1	4	2	5	5	1	2	37	57	3	7	0	0	4	15	1	0	13	157	115.97	A		
令和2年度	採用・異動	0	1	0	3	1	0	0	5	9	2	1	0	0	0	2	0	0	4	28	※産休育休 休職2名 復職2名		
	退職・異動	0	-1	-1	-3	-1	0	0	-7	-14	-1	0	0	0	-2	0	0	-1	-31				
	休職	0	0	0	0	0	0	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-2				
	復職	0	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3				
	計	0	0	-1	0	1	0	0	-2	-5	1	1	0	0	0	0	0	0	3	-2			
令和2年度末	特養	1	4	1	1	3	0	1	15	18	3 (1)	5	0 [1]	0	1	13	1	0	9	76			
	ショート	0	0	0	1	0	0	0	6	8	1	0	0	0	1	0	0	1	18				
	デイ	0	0	0	1 [1]	0	0	1	3 [1]	13	0	3 (3)	0	0 [3]	1	0	0	0	4	26			
	居宅	0	0	0	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4				
	ケア	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	3				
	グループホーム	0	0	0	1	0	0	0	9	11	0	0	0	0	0	2	0	0	23				
	訪問介護	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	5				
計	1	4	1	5	6	1	2	35	52	4	8	0	0	4	15	1	0	16	155	116.00	B		
令和3年度当初	1	3	1	5	5	1	2	36	52	4	8	0	0	4	15	1	0	16	154	115.40			

※令和2年度末

B-A=0.03

・特養・ショートにおける介護職員・看護職員対入所定員比=3:1.56

常勤職員 61名  
非常勤職員 94名

※① 非常勤職員(94名)には、非常勤医師 1名を含む。  
 ※② 介護職員のうち〔 〕内 再掲にて生活相談員と兼務  
 ※③ 看護職員のうち( )内 再掲にて機能回復訓練指導員と兼務  
 ※④ 機能訓練指導員のうち【 】内 再掲にて看護職員と兼務

(9) 資格取得・研修終了者ほか

	資格・研修名	資格取得者・研修修了者	
資格取得	認定社会福祉士	(正規) 1名	
	社会福祉士(計10名)	(正規) 10名	
	精神保健福祉士	(正規) 1名	
	介護福祉士(計42名)	(正規)	30名
		(嘱託)	2名
		(非常勤)	10名
	介護支援専門員(計16名)	(正規)	13名
		(嘱託/非常勤)	3名
	管理栄養士	(正規)	2名
認知症ケア上級専門士	(正規)	1名	
認知症ケア専門士	(正規/非常勤)	5名	
研修等	認知症介護実践リーダー研修	(正規)	9名
	認知症介護実践者研修	(正規/嘱託/非常勤)	28名
	介護福祉士実習指導者講習会	(正規/嘱託)	11名
	社会福祉士実習指導者講習会	(正規)	7名

(10) 職員概況状況

有給休暇取得率(%)

(有休取得数/当該年度発生有休日数)

令和2年度	令和元年度
73.6%	89.1%

○リフレッシュ休暇( )内令和元年度  
 対象者(勤続5年以上): 46名(38名)  
 利用実人数: 2名 利用延日数: 28日(0日)

○自己研鑽休暇( )内令和元年度  
 利用実人数: 1名(3名)  
 利用延日数: 2日(10日)

平均年齢(歳)

	令和2年度	令和元年度
常勤	39.7	37.8
非常勤	55.1	54.8

平均勤続年数(年)

	令和2年度	令和元年度
常勤	10.0	9.1
非常勤	7.1	6.7

## 令和2年度 甲南のぞみ保育園事業報告

### 1. 総括報告

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、園児や保護者の安全、健康を守る保育や対応に向き合う1年となった。感染予防の為、園生活の様々な変化や子ども自身の経験や体験の機会が失われることとなったが、「子どもの最善の利益」を追求するうえで、今までの保育を改めて見直す機会にもなった。このような中で、他機関と連携し、保護者のご理解ご協力をいただきながら、大きな事故や感染等もなく保育を進めることができた。

設備環境面では、保育支援システムを導入し、園児の登園管理、保護者一斉メール、職員勤怠管理、保育記録や計画の管理等についてICT化を進めることができた。保護者とのより深いコミュニケーションや職員の業務軽減や情報共有を目的としているが、更に充実させていきたい。法人事務局の設置及び事務機能の強化に取り組み始め2年目となるが、同一賃金同一労働に関する規程変更やそれに伴う職員の処遇等において、法人としての方針を共有し、施設間の整合性を図りながら進めることができた。

### 2. 保育の取り組み

#### 《子どもの命・健康を守る取り組み》

##### (1) 安心、安全な保育環境の保障

- ・ 手の触れる場所やトイレ、玩具の消毒の日常的实施、常時換気
- ・ 密を避ける為、クラス単位での保育実施
- ・ 光触媒酸化チタン抗菌ナノゾーンコート（保育室、トイレ、医務室、遊戯室、玩具）

##### (2) 感染予防・健康に過ごすための保育

- ・ 手洗い、うがいの指導
- ・ 給食の充実（旬の食材、免疫力のつく食材を献立に取り入れる等）

##### (3) 保護者との連携・協力

- ・ 親子共々健康観察、検温記録後の登園、送迎時のマスク着用
- ・ 保育室外での園児預かり、引き渡し

#### 《子どもの育ちを支える取り組み》

##### (1) 心と体を育む食育・噛む育

- ・ 保育士、栄養士、調理員、看護師と連携し、より楽しく美味しくよく噛んで食べる取り組み（ハンバーガー屋さん・アイスクリーム屋さん・ステーキランチ・秋刀魚炭火焼等）

##### (2) 健康なからだづくり

- ・ 子どものしたい遊びや運動遊び、戸外遊び、散歩の充実

##### (3) 心の根っこを育てる保育

- ・ 子どもの興味関心、やりたい意欲に寄り添った遊びの展開
- ・ 子ども主体の生活づくり

##### (4) 自然保育

- ・ 国土緑化推進機構、甲賀市林業推進課との連携による『森の教室』（緑化）の5歳児参加

##### (5) 保護者の連携・協力

- ・ 従来行っている絵本ランドの充実を図り、家庭での親子のふれあいを推奨
- ・ 行事参加に関して、変更等についての理解協力

《年間行事実施状況》

	令和2年度予定の園行事	実施内容
4月	入園式 よいこのあんぜんの日(命日)	進級児の出席なしに変更。入園児をクラスごとに迎える 例年どおり職員お墓参り
5月	こどもの日の集い 保育参観・保護者会総会 園医健診 個別懇談会(5歳児)	各クラスごとの取り組みに変更 保護者参加行事は中止 緊急事態宣言中である為、中止 希望者のみ実施
6月	里がえり保育(新1年生対象)	園からお手紙を送る
7月	プールびらき 七夕の集い サマーチャレンジ(5歳児)	プール遊びは中止し、水遊び実施 クラスごとの取り組み 方法を変えて実施
8月	希望保育	予定通り実施
9月	運動会	3.4.5歳児のみ学年ごとに実施
10月	秋刀魚の炭火焼き バス遠足 お芋ほり(3・4・5歳児)	職員が安全に調理し実施 中止 5歳児のみ実施
11月	サツマイモクッキング のぞみっこ展(作品展) 保育参加月間(0.1.2歳児) 園医健診 個別懇談会(0~4歳児)	クッキング実施 園舎の壁に子どもの作品を掲示し、送迎時に観ていただく 中止 予定通り感染予防しながら実施 希望者のみ実施 年長児のみ「ありがとうの会」として和太鼓演奏
12月	親子活動(3.4.5歳児) クリスマス会	中止 クラスごとの取り組み 園庭にサンタさん登場
1月	お茶会 新入園児説明会	クラスごとにお茶会の会場に入り実施 感染予防をしながら実施
2月	節分 きらきら発表会	クラスごとの取り組み クラスごとに実施・保護者2名までの参加(3.4.5歳児) ビデオ参観(0.1.2歳児)
3月	ひな祭り会 お別れ会 卒園式	クラスごとの取り組み 異年齢交流なしで「卒園おめでとう会」に変更 縮小して実施

《毎月の定例行事実施状況》

毎月の定例行事	実施状況
カンガルークラブ(安全教育)	クラスごとに実施
誕生会	園児の誕生日にクラスでお祝い 月末にお誕生日ケーキ(給食室)
元気タイム(3.4.5歳児対象 運動遊び)	従来の外部講師なし。園内外で運動遊びの充実
リズムタイム(4歳児対象)	クラスごとに6月より月1回実施
ドレミタイム(5歳児対象)	クラスごとに6月より月1回実施

和太鼓(5歳児対象)	従来の外部講師より職員研修の上、6月よりクラスごとに月1回実施
発育測定	感染予防しながら実施
避難訓練	緊急時に備え、例年通り実施

#### 《他機関と園児交流事業》

交流行事等	実施状況
希望ヶ丘小学校5年生・5歳児交流	小学校からのビデオレターを鑑賞
希望ヶ丘高齢部交流	中止
希望ヶ丘保育園との交流	中止
せせらぎ苑ケアハウス交流	中止 芋ほりのみ5歳児実施
夏祭り・文化祭等地域行事への参加	中止

### 3. 保護者との連携

#### (1) 保護者会活動

保護者会役員会・保護者総会・愛園作業は実施せず、三役中心に重要事項について話し合いや決定を行い、ご協力いただいた。

#### (2) ICT化によるコミュニケーション・連携

保育業務支援システムの導入にあたり、紙面にて説明を行い、個人情報の取り扱いについて同意をいただいた。

#### (3) クラスだより・園だより

前年度のアンケートのご意見をもとに、クラス便りや園だよりの内容を検討し、発信の頻度を増やした。

### 4. 病児保育事業(体調不良児対応型)

第二種社会福祉事業として事業実施をして2年目となるが、園児の健康管理、体調不良児を保健室での一時的な対応、与薬等を実施した。新型コロナウイルス感染症の感染予防を徹底する中で、発熱等の園児が少なく、保健室の一時的な利用は比較的少なかった。

### 5. 一時預かり保育事業

従来、甲賀市の委託事業として実施していた一時預かり保育事業を令和元年度より第二種社会福祉事業としての位置づけで事業実施することになり2年目となるが、新型コロナウイルス感染症対策として、前半は受け入れを中止した。また、後半は別の保育室で担当者が保育できる状況の時のみ受け入れを行った。保育士の体制が整わず、十分には受け入れられなかった。

### 6. 地域貢献活動「地域福祉の増進」

新型コロナウイルス感染対策として、外部からの来園者を制限していたため、実施できなかった。次年度は、感染予防しながら地域貢献できる事業の方向性を検討していきたい。

### 7. 他機関との連携

#### (1) 甲賀市

新型コロナウイルス感染拡大防止対策においては、甲賀市及び甲賀市内の私立保育園等との情

報共有を普段以上に密に行い、園児や保護者にとってより安心・安全な対策を見出し、対応することができた。

## (2) 家庭児童相談室

個人情報の取り扱いに十分配慮しながら職員間で連携し園児及び保護者の対応を行った。保護者理解を深めるために、家庭児童相談室相談員によるケース検討の研修を実施した。

## (3) 希望ヶ丘学区

非常災害時の避難場所の一つとして、地域内の空き地を利用させていただき、地域との連携を進めることができた。

希望ヶ丘学区まちづくり協議会より防災グッズ入りの避難用リュック 10 個、学区の防災用備品として有効利用するために園に置かせていただくこととなった。

## (4) 小学校

新型コロナウイルス感染症の影響により、アプローチカリキュラムの再検討等、継続した取り組みができなかった。

## (5) 中学校職場体験

甲南中学校・水口中学校の職場体験受け入れを予定していたが、新型コロナウイルスの感染拡大により中止となった。

## (6) 養成校実習生受け入れ

コロナ禍ではあるが、養成校との連携により感染予防をしながら実習生の受け入れを行った。

# 8. 危機管理

## (1) 非常災害対策

防災倉庫を設置し、避難用品や持ち出し品の整理及び職員周知を図った。施設機能強化事業の補助金により、アレルギー児、乳児にも対応できる食品やミルク等の購入を行った。

## (2) 防犯対策

防犯カメラを敷地内に 6 台設置し、職員室でモニター確認できる環境を整えた。

## (3) 個人情報

職員会議等で、個人情報漏えいのリスク管理や SNS の取り扱いについて、法人の規程やマニュアルにより周知した。

## (4) 感染症対策

新型コロナウイルス感染予防対策や保育の実施について、市と連携し、「甲賀市保育園幼稚園保育再開ガイドライン」や厚労省からの通知に基づいて実施し、感染者や感染を疑う事例はなかった。

## (5) その他の病気・怪我の対応

令和元年度のヒヤリハット報告・アクシデント報告が 210 件であったのに対して、令和 2 年度は、103 件であった。戶外遊びの機会を十分に設けていたが、遊んでいる最中の怪我は少なく、片づけの際や生活の場面がかわる時にひっかきや噛みつき、打撲といった怪我が多かった。

年に 3 回職員で『あんぜんの日』にアクシデントの振り返りを行い、二度と起こさないために大切なことを共有する機会としている。新しい職員へ命の重みや怪我の対応を丁寧に伝えていく機会も設けた。

## (6) 送迎時の園児の安全確保

園日よりや新入園児説明会等を通して園児の遊びをそばで見守っていただくようお願いして

いるところであるが、保護者に引き渡した後に園庭で怪我をするケースがあった。大きな怪我の未然防止について今後強化していく必要がある。また、駐車場での危険性についても同様で、保護者にも園児にも安全意識が持てるよう更に働きかけていく必要がある。

#### (7) 園外保育時の安全確保

2年前の大阪での園児の交通事故を受けて、令和元年度にマニュアル整備、危険個所の整理を行った。それらを活用しながら危機感をもつての取り組みを行うことができた。

#### (8) 健康管理

新型コロナウイルス感染予防に伴い、保護者と連携しながら健康管理に努めることができた。インフルエンザやその他の感染症なども流行することなく健康で過ごすことができた。

食事に関しては、給食検討会を充実させ、子どもたちの口に入る物の安全性や大きさ、切り方、食べさせ方について検討し、安全な食事を提供することができた。

アレルギー対応については、全職員がマニュアルを把握し、声出し確認を徹底し、誤食なく食事を進めることができた。

歯の健康は、新型コロナウイルス感染症のリスク回避より重要であるとの市、園医の指導もあり、5歳児の「フッ化物洗口」を実施するにあたり、保護者と連携し、スムーズに進められた。

### 9. 働きやすい職場づくり

有給休暇が取りやすい環境づくりに努めているが、新型コロナウイルス感染症の影響で、リフレッシュする機会や場所がない為、取得率が減った。

#### (1) 業務の効率化

- ・ 保育業務軽減のためのICT化として、保育業務支援システムを導入した。様々な機能を利用しながら、試行錯誤を重ね、少しずつ業務軽減に繋げていった。
- ・ 会議の目的や内容、時間帯の設定、出席人数、時間短縮、情報共有の仕方等についてより明確にしたことで、コロナの影響による様々な変化や対応について職員全体で共有することができた。

#### (2) 同一労働同一賃金

- ・ 非常勤職員に対し、面談の際に働き方について話し合い理解を得た上で業務に専念出来ている。
- ・ 規程変更を行い、6月12月の賞与支給、特別有給休暇等処遇改善を行った。

#### (3) メンタルヘルス講座実施

全職員(非常勤職員)へ広く案内し、「ストレスの対処の仕方」「アンガーマネジメント」などについて学ぶ機会を持った。

#### (4) ストレスチェック実施

職員数50名には満たないが、積極的に職場環境の改善につなげる為にストレスチェックを実施した。自分のストレスの状態を把握し、自己管理していく上で、有効だった。高ストレスの職員については、法人設置のカウンセリングルームの利用により健康に仕事に向き合うことができた。

#### (5) 人を大切にする風土づくり

- ・ リーダーやミドルリーダーによるコミュニケーション活性化により、話しやすい雰囲気が広がり、一人一人の良さを引き出したり、悩みを打ち明けたりできる関係も積み上げることができた。
- ・ コロナ禍で、会食はできないが、職員の誕生日のお祝いを毎月会議後に行ったり、親睦会によ



るビンゴゲーム等 密を避けながら楽しい雰囲気づくりや福利厚生を充実させ、コロナによるストレス軽減に努めた。

## 10. 人財育成

### (1) 採用

滋賀県保育協議会主催の就職フェア、定期的な園見学等、積極的な採用活動により、正規職員4名の採用につながった。

### (2) 育成

ブラザーシスター制を実施し、シスターの面談や研修を行ったり、新規採用者の育成計画に基づいた研修や面談の実施に加え、園全体で相談や声かけなどコミュニケーションの強化を図ることができた。ミドルリーダー層、リーダー層、非常勤職員等少人数のグループごとの研修も計画的にすすめることができた。

### (3) 定着

傍楽委員会の活動により、「時間を有効に使い、時間外労働を減らすこと」や 休憩を摂ること等、職員の意見や提案による業務改善ができたことが、よりよい職場をみんなで作る雰囲気づくりにつながった。

## 11. 保育サービスの質の向上

令和2年度は、12件の要望・問い合わせ・苦情を第三者委員会に報告した。保護者への職員の対応についてのご要望とともにコロナ禍での行事変更や園の情報発信の仕方、園の取り組みへの不満等が多かった。保護者と園とのコミュニケーションの重要性を痛感した。

例年より早めに保護者アンケートを行い、保護者の思いや願いに寄り添った運営に努めた。本園の感染予防対策や保育運営について、様々なご意見があったが、深くご理解いただいている記述も多数あり、職員のモチベーション維持に繋げることができた。

## 12. 令和2年度施設設備の改善・大型購入物品

### (1) ICT化及び施設環境改善

ICT化施設設備導入費用	1,071,800円	内補助金750,000円
防犯カメラ設置工事一式	734,800円	
防災倉庫	946,000円	
トイレ改修(2・3歳児用)	5,373,500円	
園庭遊具(築山)メンテナンス	256,850円	
給食用食器入れ替え	445,500円	3年計画の2年目完了
貸し出し絵本 108冊	150,530円	絵本ランドの充実
空気清浄機 13台	990,000円	全額補助金
ナノゾーンコート施工	583,000円	全額補助金
ほいくの保険(コロナ対象に加入)	352,705円	園負担
合計	10,904,685円	

### 13. 概況報告

#### (1) 施設の概要

施設の所在地	甲賀市甲南町稗谷 2838 番地
施設長氏名	園長 辻森 みさき (平成 27 年 4 月 1 日就任)
開園年月日	平成 8 年 4 月 1 日
定員	160 名 (開園当初、150 名定員を平成 14 年 4 月 1 日付け変更)

#### (2) 入所に関する事項

年齢	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	計
H23 年度末	15	22	28	38	30	41	174
H24 年度末	15	20	34	39	50	31	189
H25 年度末	12	15	23	41	49	49	189
H26 年度末	12	14	24	32	48	46	176
H27 年度末	12	14	23	35	31	46	161
H28 年度末	13	21	23	40	36	29	162
H29 年度末	12	19	24	32	40	36	163
H30 年度末	8	18	23	39	35	40	163
R 元年度末	12	19	22	35	44	37	169
R2 年度末	8	20	22	35	38	44	167

#### (3) 令和 2 年度 年度途中入退園児に関する事項

年齢	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	計
入園した児童	5	1	1	0	0	0	7
退園した児童	0	0	1	0	0	0	1

令和元年度 途中入園 13 名 途中退園 1 名

#### (4) 延長保育事業

年間利用児童数内訳 《3 歳未満児》

年/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
元年度	5	5	8	7	5	11	5	5	8	9	3	3	74
2年度	7	10	18	25	16	12	16	9	7	6	8	11	145

年間利用児童数内訳 《3 歳以上児》

年/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
元年度	25	28	20	26	25	24	22	31	25	36	13	13	288
2年度	11	10	13	16	19	9	14	9	10	7	14	12	144

年間児童数合計

	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R2 年度
年間利用 延べ児童数	563 名	582 名	526 名	342 名	231 名	362 名	289 名

(5) 病児保育事業に関する事項

園児欠席状況

開園日数	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		令和2年度合計		令和元年度合計	
	25		23		26		25		25		24		27		23		24		23		22		26		293		293	
	平21	土4	平18	土5	平22	土4	平21	土4	平20	土5	平20	土4	平22	土5	平19	土4	平20	土4	平19	土4	平18	土4	平23	土3	平日243	土50	平日243	土50
感冒症状	55	0	16	0	95	0	70	0	17	0	55	0	47	0	48	0	54	0	34	0	40	0	34	0	565	0	554	0
消化器症状	4	0	2	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	10	0	6	0	0	0	3	0	30	0	134	0
皮膚疾患	0	0	4	0	2	0	4	0	1	0	3	0	2	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	19	0	17	0
眼疾患	0	0	0	0	2	0	3	0	1	0	1	0	6	0	9	0	7	0	1	0	1	0	1	0	32	0	77	0
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	264	0
中耳炎	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	7	0	20	0
ケガ	0	0	1	0	1	0	3	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	5	0	0	0	0	0	12	0	7	0
その他	8	0	1	0	23	0	17	0	13	0	4	0	7	0	1	0	1	0	2	0	0	0	14	0	91	0	51	0
家事都合	1,118	585	1,160	762	79	603	89	612	635	756	106	507	105	607	124	603	192	604	204	608	71	611	348	461	4,231	7,319	2,248	4,957
合計	1,166	585	1,184	762	204	603	189	612	667	756	170	507	168	607	187	603	266	604	254	608	112	611	400	461	4,987	7,319	3,372	4,967
特記事項	園児 1名 保護者都合 1名		園児 1名 保護者都合 2名									園児 1名																

保健室利用状況

症 状	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	令和2年度合計	令和元年度合計
発熱	4	3	16	4	3	4	4	2	10	4	3	3	60	223
けが	10	7	7	12	3	7	11	7	10	8	13	5	100	74
嘔吐		1	2	2	1	1	2		5				14	29
下痢・腹痛			3				2		1			1	7	4
喘息			1						1				2	3
耳の症状	1			1						1			3	3
倦怠感・頭痛			1	5			1						7	3
とげ						2							2	2
発疹		1	3	1		1	1		1	1			9	20
眼の症状			3	2	1	1	2	3	1			1	14	19
虫刺され				2			1						3	18
アレルギー	1		1										2	0
熱傷													0	1
肘内障									1				1	1
頭ジラミ								2					2	2
その他		1	2	2					1			1	7	4
合計 (人)	16	13	39	31	8	16	24	14	31	14	16	11	233	406

園児与薬状況

与薬人数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	令和2年度合計	令和元年度合計
人 数	5	2	35	50	34	19	19	1	8	14	25	39	251	307
1日平均 (人)	0.20	0.10	1.40	2.00	1.36	0.79	0.7	0.01	0.3	0.6	1.1	1.5	0.82	1.3

## (6) 一時預かり保育利用状況

年齢/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
0~2	0	0	0	2	2	3	2	2	2	6	4	2	25
3	0	0	0	4	4	0	0	0	0	0	0	0	8
4~	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	6	6	3	2	2	2	6	4	2	33

## 一時預かり年間延べ利用数

年間利用 延べ数	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
	300件	464件	420件	380件	366件	193件	33件

## (7) 職員に関する事項

	園長	主任	保育士			給食室		看護師	事務		保育補助	合計	換算
	正規	正規	正規	嘱託	パート	正規	パート	パート	正規	パート	パート		
28年度末	1	1	17	2	9	3	2	1	1	1	1	39	33.7
29年度末	1	1	14	2	16	3	2	1	1	1	6	48	32.1
30年度末	1	1	15	1	17	3	2	1	1	1	4	48	34.4
元年度末	1	1	13	1	18	3	2	1	1	1	6	48	36.0
2年度当初	1	1	16	0	17	2	4	1(嘱託)	1	1	4	48	35.1
2年度末	1	1	15	0	18	2	3	1(嘱託)	1	1	4	47	32.7

## (8) 採用・離職に関する事項

	新規採用		途中採用		退職		年度末職員数		離職率(%)	
	正規嘱託	パート	正規嘱託	パート	正規嘱託	パート	正規嘱託	パート	正規嘱託	パート
元年度	0	2	0	5	4	10	20	28	20%	36%
2年度	4	7	0	2	1	4	20	27	5%	15%

離職率：退職÷年度末職員数

## (9) 有給取得率

有給取得数/当該年度発生有給日数

	正規職員	嘱託職員	非常勤職員	職員全体
平成28年度	52.4%	44.5%	67.4%	60.4%
平成29年度	57.7%	52.9%	79.8%	63.3%
平成30年度	60.4%	40.9%	82.5%	67.1%
令和元年度	67.8%	68.1%	75.9%	71.2%
令和2年度	40.6%		58.1%	48.1%

## (10) 職員平均年齢 平均勤続年数 (正規職員)

平成 28 年度	33.6 歳	7.9 年
平成 29 年度	30.6 歳	8.3 年
平成 30 年度	30.3 歳	6.7 年
令和 元 年度	34.1 歳	9.2 年
令和 2 年度	31.8 歳	7.8 年

## (11) 処遇改善加算状況

令和 2 年 4 月には、働き方改革法における「雇用形態にかかわらず公正な待遇の確保」に対応すべく、改めて、正規職員と非常勤職員の業務や責任の差を評価し、支給する給与や手当について給与規程を改正した。

処遇改善加算 I については、令和 2 年度より算定方法の見直しがあったものの、例年同様に職員の処遇に反映することができ、昇給や新たな非常勤職員への賞与の支給、年度末の処遇改善加算手当の支給ができた。

(処遇改善加算 I : 1,378,000 円・処遇改善加算 II : 4,397,000 円)

## (12) 職員研修実施状況

令和 2 年度施設内研修実施状況(人権研修を含む)

月 日	研修内容	対象者	参加人数	研修時間
3 月 28 日	働きやすい職場について 園長	職員	37 名	0:30
4 月 20 日	新任研修「諸帳簿の書き方」 副主任保育士	新任職員	4 名	1:00
5 月 20 日	新任研修「働き方について」 事務主任	新任職員	4 名	1:00
6 月 6 日	救命処置と応急手当 看護師	職員	18 名	1:00
6 月 6 日	エピソード記録について	職員	17 名	1:15
6 月 13 日	音楽指導(実技指導)について 日本総合音楽研究 長澤 圭介氏	職員	10 名	5:00
6 月 25 日	気付いて防ぐ職場のパワハラ 園長	職員	19 名	0:45
7 月 10 日	新任研修「アクシデント対応について」 主任保育士	新任職員	4 名	1:00
7 月 29 日	園内公開保育(きりん組)	保育士	9 名	2:00
7 月 30 日	新任研修「特別支援教育」 主任保育士	新任職員	4 名	1:00
8 月 3 日	園内公開保育(うさぎ組)	保育士	10 名	2:00
8 月 18 日	新任研修「食育」 副主任・調理師	新任職員	4 名	1:00
8 月 28 日	職員研修「アンガーマネジメントを活用した叱り方講座」 産業カウンセラー 知田 良博氏	職員	21 名	2:00
9 月 5 日	WEB 研修「コロナ禍のヒトの育ち」「思うは招く」 グループワーク「嗜む育について」 園長	職員	18 名	1:30
9 月 8 日	園内公開保育(ちゅうりっぷルーム)	保育士	9 名	2:00
9 月 14 日	人権研修「外国文化について」 主任保育士	職員	21 名	0:30
9 月 14 日	職員研修「学びの連続性を踏まえた保幼小の在り方」 岐阜聖徳学園大学教育部 西川 正晃教授	職員	18 名	0:45
10 月 2 日	中堅研修「絵本講座」 保育士	中堅職員	4 名	1:00
10 月 27 日	園内公開保育(ぞう組)	保育士	11 名	2:00

10月27日	職員研修「こども・家庭支援について ケース検討」 家庭児童相談室	職員	20名	1:00
11月13日	新任研修「乳児保育」 主任保育士	新任職員	4名	1:00
11月17日	リーダー研修 園長	職員	10名	1:30
11月19日	園内公開保育（らいおん組）	保育士	11名	2:00
11月27日	職員研修「コーチング講座」 産業カウンセラー 知田 良博氏	職員	20名	1:30
12月2日	園内公開保育（こあら組）	保育士	10名	2:00
12月4日	新任研修「幼児保育」 副主任保育士	新任職員	4名	1:00
12月8日	中堅研修「特別支援教育」 保育士	中堅職員	5名	1:00
12月23日	人権研修「これって虐待？」 主任保育士	職員	18名	0:20
1月1日	園内公開保育（ばんだ組）	保育士	8名	2:00
2月18日	園内公開保育（すみれルーム）	保育士	9名	2:00
2月19日	非常勤研修「子どもの見方・育ち」 主任保育士	保育士	12名	1:00
2月25日	和太鼓研修 副主任保育士	職員	17名	1:00
3月2日	新採研修	新規採用者	7名	3:00
3月11日	園内公開保育（たんぽぽルーム）	保育士	8名	2:00
3月29日	新採研修	新規採用者	4名	8:00
3月30日	新採研修	新規採用者	4名	8:00
3月30日	人権研修「保育現場から」 主任保育士	職員	17名	0:30
合 計			430名	

令和2年度外部研修(人権研修を含む)

月日	研修名	研修先	参加者
6月9日	甲賀市・湖南市教職員合同研修 第1回目	かえで会館	保育士1名
6月30日	甲賀市・湖南市教職員合同研修 第2回目	滋賀県人権相談センター	保育士1名
7月3日	第1回「滋賀県災害派遣福祉チーム（しが DWAT）」養成研修	滋賀県危機管理センター	園長・保育士2名
7月8日 9日	安全衛生推進者養成講習	滋賀労働基準協会	事務・保育士2名
8月1日 8月10日	令和2年度キャリアアップ研修（乳児保育）	滋賀短期大学 滋賀県庁	保育士1名
8月22日 10月31日	令和2年度キャリアアップ研修（幼児教育）	滋賀文教短期大学	保育士1名
8月26日	滋賀県保育協議会 令和2年度 主任保育士研修会	長寿社会福祉センター	保育士1名
8月31日	日本保育協会滋賀県支部青年部研修会（オンライン） 「保育者の対話・コミュニケーションを豊かに」講師 村井尚子氏	甲南のぞみ保育園 遊戯室	保育士2名
9月5日 9月22日	令和2年度キャリアアップ研修（食育・アレルギー対応）	びわこ学院大学	事務 1名
9月8日 9月20日	令和2年度キャリアアップ研修（障害児保育）	滋賀文教短期大学	保育士1名
9月9日 9月10日	滋賀県保育協議会 令和2年度 新任保育者研修会	長寿社会福祉センター	保育士2名
9月12日 9月13日	令和2年度キャリアアップ研修（幼児教育）	滋賀文教短期大学	保育士1名
9月14日	滋賀県保育協議会 令和2年度 保育者研修会（保育内容）	長寿社会福祉センター	保育士1名
10月3日 10月25日	令和2年度キャリアアップ研修（保護者支援・子育て支援）	びわこ学院大学	保育士1名
10月4日 12月6日	令和2年度キャリアアップ研修（食育・アレルギー対応）	滋賀短期大学	保育士1名

10月21日	令和2年度 調理担当者研修会	長寿社会福祉センター	栄養士1名
10月23日	新任フォローアップ研修	淡海富士花緑公園	保育士2名
10月24日 10月31日	令和2年度キャリアアップ研修(乳児保育)	びわこ学院大学	栄養士1名
10月29日	令和2年度 メンター研修	大津市民文化会館	保育士1名
11月11日	保育園・幼稚園等 特別支援教育基礎講座	甲賀市役所	保育士1名
11月13日	令和2年度 第2回保育運営管理者研修会	ビバンティ彦根	事務 1名
11月7日 11月22日	令和2年度キャリアアップ研修(障害児保育)	びわこ学院大学	保育士1名
11月12日	令和2年度 経営改善基礎講座	せせらぎ苑	事務 1名
11月18日	「令和2年度年末調整等のポイント」セミナー	あいこうか市民ホール	事務 1名
11月21日 12月20日	令和2年度キャリアアップ研修(食育・アレルギー対応)	滋賀文教短期大学	保育士1名
11月27日	令和2年度 甲賀市企業内人権啓発窓口担当者スキルアップ連続講座	あいこうか市民ホール	保育士1名
12月3日	令和2年度滋賀県社会福祉法人経営者協議会青年部会研修会	オンライン	事務 1名
12月10日	令和2年度 経営改善基礎講座	せせらぎ苑(オンライン)	園長・事務2名
12月17日	甲賀市 感染症研修会	あいこうか市民ホール	保育士1名
1月14日	令和2年度 経営改善基礎講座	せせらぎ苑(オンライン)	園長・事務2名
2月24日	第47回 全国保育士研修会	オンライン	保育士1名
3月1日	令和2年度保育所等運営管理者研修会	長寿社会福祉センター	園長 1名
合 計			39名

平成30年度 150名、令和元年度 133名

### (13) キャリアアップ研修履修状況

滋賀県では、保育現場におけるリーダー的な保育士等を育成するため、厚生労働省が定める「保育士等キャリアアップ研修の実施について」(平成29年4月1日付け雇児保発0401第1号厚生労働省雇用均等・児童家庭局保育課長通知)の別紙「保育士等キャリアアップ研修ガイドライン」に基づき、必要な知識や技術の習得等のための研修を実施し、保育士等の専門性の向上と質の高い人材の安定的な確保を図ることを目的に、「滋賀県保育士等キャリアアップ研修」を実施します。

#### 令和2年度キャリアアップ研修履修状況

月 日	研修名	研修先	参加者
8月1日	乳児保育	滋賀短期大学	保育士1名
8月10日	乳児保育	滋賀県庁	保育士1名
8月22日	幼児保育	滋賀文教短期大学	保育士1名
9月5日	食育・アレルギー対応	びわこ学院大学	事務 1名
9月8日	障害児保育	滋賀文教短期大学	保育士1名
9月12日	幼児教育	滋賀短期大学	保育士1名
9月13日	幼児教育	滋賀短期大学	保育士1名
9月20日	障害児保育	滋賀文教短期大学	保育士1名
9月22日	食育・アレルギー対応	びわこ学院大学	事務 1名
10月3日	保護者支援・子育て支援	びわこ学院大学	保育士1名

10月 4日	食育・アレルギー対応	滋賀短期大学	保育士 1名
10月 25日	保護者支援・子育て支援	びわこ学院大学	保育士 1名
11月 21日	食育・アレルギー対応	滋賀文教短期大学	保育士 1名
12月 6日	食育・アレルギー対応	滋賀短期大学	保育士 1名
12月 20日	食育・アレルギー対応	滋賀文教短期大学	保育士 1名
合 計			15名

2020年度末時点でのキャリアアップ研修履修人数

マネジメント	7名
乳児保育	6名
幼児保育	7名
食育・アレルギー対応	6名
保護者支援・子育て支援	2名
保健衛生・安全対策	4名
障害児保育	3名
合計	35名